Panasonic 持込修理

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	SJ-MR220
保証期間	お買い上げ日から **本体1年間**
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　　　　**様** 電　話（　　）　－
※販売店	住所・氏名 電話（　　）　－

松下電器産業株式会社
AVCネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号　TEL (06) 6909-1021

ご販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

RQT5997-S
F0401KK0

Panasonic®

ポータブル MD レコーダー
Portable MD Recorder

取扱説明書
Operating Instructions

品番　**SJ-MR220**

このたびは、ポータブルMDレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

MiniDisc

保証書付き

上手に使って上手に節電

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　）　－	お買い上げ日	年　月　日
お客様ご相談窓口	☎（　）　－	品　番	SJ-MR220

松下電器産業株式会社　AVCネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号
Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. AVC Network Business Group
1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571-8505

RQT5997-S

主な特長

1 MDLP長時間録音、再生

1枚のディスクに、ステレオで従来の2倍、4倍の長時間録音（LP2、LP4）ができます。また長時間録音されたMDを再生することができます。

2 録音レベルが調節できる

録音シーンに合わせて、デジタル、アナログ、マイクすべての入力方式で、録音レベルをお好みの値に調節することができます。

3 フラットスイッチで文字入力

指先で軽くなぞるだけで文字選択が素早くできるので、タイトル入力などが簡単にかつスムーズにできます。

4 グループ管理機能搭載

たとえば・・・
- 80分のCDアルバムをLP4モードで4枚録音した場合、CDアルバムごとに4つのグループに分けてそれぞれのグループにタイトルをつけることができます。
- 再生時にグループ単位での曲の頭出しができるので、素早く聞きたい曲を見つけることができます。
- マイクから録音した場合、録音内容によってグループ分けをすることができます。

5 高音質録音機能搭載

通常のステレオ録音の場合"H.D.E.S"(High Density Encoding System（ハイ デンシティ エンコーディング システム）)が働き、高音質での録音が可能です。

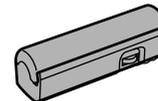
付属品の確認

■ ステレオインサイドホン
（L0BAB0000162）

■ 乾電池ケース
（RFA1537-S）

■ ジョイント式リモコン
（N2QCBD000012）

■ ACアダプター
（RFEAO01J-S）

■ ニッケル水素充電式電池
充電式電池ケース(RFA0475-Q)
から取り出してご使用ください。

■ キャリングケース
（RFC0069-H）

■付属品の買い替えについて

サービスルートでお買い求めいただけます。上記かっこ内の品番でお買い上げの販売店にご注文ください。（ニッケル水素充電式電池は別売り品HHF-1PSC/1BまたはHHF-AZ01S/1Bをお買い求めください。）

■別売り品でお買い求めいただけるもの

「電源の準備」（➠15ページ）、「別売り品の紹介」（➠ 65ページ）をご参照ください。

もくじ

まず
確認と準備

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・6
各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・12
電源の準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・15
充電式電池で使う ・・・・・・・・・・・・・・15
乾電池（別売り）で使う ・・・・・・・・・・16
電池残量のお知らせ機能 ・・・・・・・・・・16
AC アダプターで使う ・・・・・・・・・・・・17
ご使用の前に ・・・・・・・・・・・・・・・・17
HOLD（ホールド）機能 ・・・・・・・・・・・17
MD を入れる・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
フラットスイッチの使いかた ・・・・・・・・19

録音する前に ・・・・・・・・・・・・・・・・20
MD の種類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
取扱上のお願い ・・・・・・・・・・・・・・・・20
MD の用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・・20
MD の録音・編集について ・・・・・・・・・21
録音に必要な接続コード ・・・・・・・・・・22
基本の録音 ・・・・・・・・・・・・・24
高音質録音について ・・・・・・・・・・・・・24
再生側に合わせて録音を始める ・・・・・・26
トラックマークのつきかた ・・・・・・・・・28
接続する機器について（デジタル接続の場合）・28
録音を正しく行うために ・・・・・・・・・・28
マイクからの録音 ・・・・・・・・・・・・・・29
MDLP 長時間録音 ・・・・・・・・・・・・30
録音に便利な機能 ・・・・・・・・・・・・・・32
トラックマークのつけかた ・・・・・・・・・32
録音感度を調節する ・・・・・・・・・・・・・33
残り時間を確かめる ・・・・・・・・・・・・・33

再生
してみよう

基本の聞きかた ・・・・・・・・・・34
いろいろな聞きかた ・・・・・・・・・・・37
曲を前後にとび越す ・・・・・・・・・・・・・37
早送り・早戻し ・・・・・・・・・・・・・・・・37
好みの曲やグループから聞く ・・・・・・・・38
くり返し聞く／順不同に聞く ・・・・・・・・39
音質を変える ・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
その他の便利な機能 ・・・・・・・・・・・41
表示パネルについて ・・・・・・・・・・・・・41
リモコンの操作受付音について ・・・・・・・43

MD を編集する ・・・・・・・・・・・・・・・44
こんなことができます・・・・・・・・・・・・44
1 曲を 2 曲に分ける（ディバイド）・・・・・45
曲を移動する（ムーブ）・・・・・・・・・・・46
全曲を消す（オール　イレース）・・・・・・47
1曲ずつ消す（トラック　イレース）・・・・48
2 曲を 1 曲にまとめる（コンバイン）・・・・49
曲をグループにまとめる（グループ）・・・・50
MD にタイトルをつける ・・・・・・・・・55
曲やディスクにタイトルをつける・・・・・・55
文字入力のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・58
他の MD にタイトルをコピーする・・・・・・61

ご参考に

他の機器と組み合わせて使う ・・・・・・63
ステレオ機器と接続する ・・・・・・・・・・63
外部スピーカーで聞く・・・・・・・・・・・・63
カーオーディオで聞く・・・・・・・・・・・・64
別売り品の紹介 ・・・・・・・・・・・・・・65
ご使用の際に ・・・・・・・・・・・・・・・65
著作権について ・・・・・・・・・・・・・・66
MD のシステム上の制約 ・・・・・・・・67
故障かな！？／ Q&A（よくあるご質問）・68
こんな表示が出たら ・・・・・・・・・・・70
保証とアフターサービス ・・・・・・・・・72
Operating Instructions ・・・・・・・76
主な仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・88

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

本機について

警告

分解・改造しない

分解禁止

- 機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- 点検や修理は、販売店へご依頼ください。

自動車やバイク、自転車などの運転中は、ステレオインサイドホンで使用しない

- 周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因 になります。
- 歩行中（特に、踏切や横断歩道）でも周囲の交通に十分注意してください。
- 交通安全のため自動車運転中は、ＭＤレコーダーを操作しないでください。

注意

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

ステレオインサイドホン使用時は音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 車外の音が聞こえないような音量で聞きながら運転すると、交通事故の原因になることがあります。

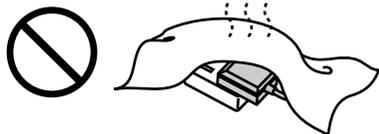
ステレオインサイドホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止する

- そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

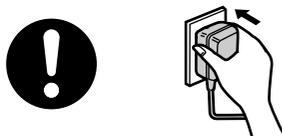
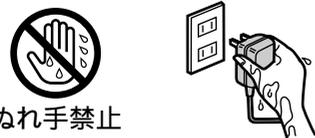
AC アダプターについて

⚠ 危険

ふとんや布でおおった状態で使用しない

- 熱がこもって、ケースが変形したり、火災や感電の原因になることがあります。

⚠ 警告

プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、AC アダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

AC アダプターについて（つづき）

⚠ 警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

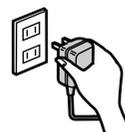
- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、AC アダプターを抜いてください。

⚠ 注意

抜き差しは AC アダプター本体を持つ

- コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりし、火災や感電の原因になることがあります。

付属の AC アダプターを使う

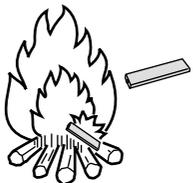
- 指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

充電式電池について

⚠ 危険

充電は、本機（本体と付属の AC アダプター）を使う

- 本機以外で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- 充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

はんだ付け、分解、改造したり、火の中へ投入、加熱はしない

- 電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

⚠ 警告

⊕と⊖をショートさせない

- 電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- ネックレスなどの金属物といっしょに携帯、保管する場合は、必ず付属の充電式電池ケースに入れてください。
- 電池には安全のためにビニールのチューブをかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。はがれたものは使わないでください。

乾電池について

⚠ 注意

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使い方をしない

- **充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
（乾電池入りの乾電池ケースも同様です。）
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

カーオーディオとの接続について

⚠ 警告

運転に支障をきたすところへ取り付けない

- 前方視界や運転操作を妨げるところに取り付けると、交通事故の原因になります。

カー電源アダプターのヒューズは指定のヒューズを使う

- 交換時に指定外のヒューズを使うと、火災の原因になります。

各部のなまえ

㉝などの数字は、参照ページです。

本 体

⑦ ◀ OPEN（充電式電池）ふた ⑮

⑧ 表示パネル ⑮

⑨ ▶/ ❚❚, CHARA ㉔ ㉟ ㊳
録音／再生／一時停止／電源入, 文字種切換ボタン

⑩ OPEN ▶ ⑱
ふた開つまみ

⑪ REC →, LP MODE ㉔ ㉚
録音待機／電源入、長時間録音モード切換つまみ

⑫ HOLD → ⑰
本体用ホールドつまみ

⑬ MIC(PLUG IN POWER) ㉙
マイク端子

⑭ OPT/LINE IN ㉕
光デジタル／ライン入力端子

⑮ ■, OPR OFF ㉕ ㉟ ㊺
停止／電源切, 編集モード解除ボタン

⑯ ヘッドホン端子（🎧）㉟

⑰ EDIT, MARK MODE ㉜ ㊺
編集モード, 編集内容確定, トラックマーク モード切換ボタン

⑱ DC IN 1.8 V
（外部電源）端子 ⑮

⑲ 乾電池ケース取り付け穴 ⑯

① EQ / REC SENS, SPACE ㉝ ㊵ ㊾
音質切換／録音感度切換,
スペース挿入ボタン

② DISP, CAPS ㉝ ㊷ ㊿
表示切換, 大／小文字切換ボタン

③ ⏮ ← ❙ → ⏭ ㊲ ㊺ ㊳
曲番選択, 編集モード選択, 文字選択

④ ← −, ＋ →, VOL/CURSOR ㉟ ㊳
音量調節／ カーソル移動ボタン

⑤ MODE, DELETE ㉖ ㊴ ㊿
録音／再生モード切換, 1文字削除ボタン

⑥ ENTER ㉜ ㊺
トラックマーク付与, ③の選択項目確定

本体表示パネル

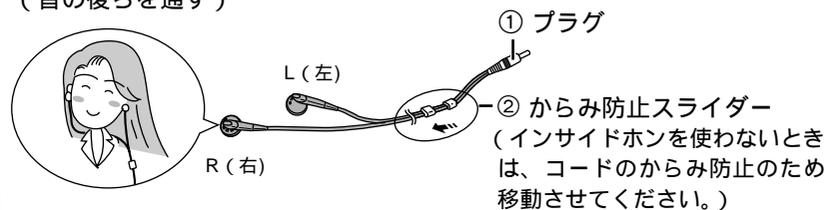
① 録音表示
② レベルメーター
③ 長時間録音モード表示
④ シンクロ録音表示
⑤ 録音・再生残り時間表示
⑥ 音質表示
⑦ 電池残量表示
⑧ 曲番、文字情報表示
⑨ 再生モード表示
⑩ ディスクマーク

各部のなまえ（つづき）

リモコン

リモコンパネル

インサイドホン

コードの長い方（R 側）を右耳に（首の後ろを通す）

電源の準備

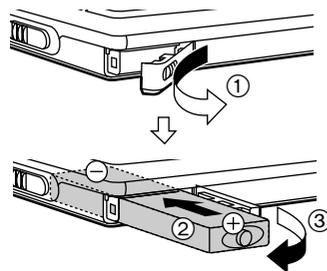
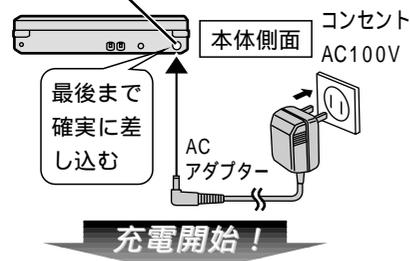
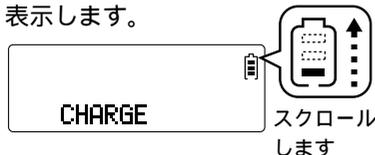
充電式電池で使う

必ず充電してから使用してください。

1 充電式電池を本体に入れる

付属または指定の別売り充電式電池以外は充電できません。

2 AC アダプターを接続する

充電開始！

充電中、表示パネルは次のように表示します。

表示（“ CHARGE ”）が消えたら充電完了（フル充電）です。付属の充電式電池では**約 3 時間 30 分**かかります。

3 充電終了後、[DC IN 1.8 V ⊖-◐-⊕]端子とコンセントからAC アダプターを抜く

お知らせ

- 電源を切った状態(➠24 ページ)でのみ、充電できます。
- “ CHARGE ” 表示が出ないときは、一度 AC アダプターを本体の[DC IN 1.8 V ⊖-◐-⊕] 端子から抜き、再び差し込んでください。
- 充電中、AC アダプターと充電式電池は熱を持ちますが、異常ではありません。

■電池の持続時間

「主な仕様」(➠89 ページ) をご覧ください。

■継ぎ足し充電できます

パナソニックのニッケル水素充電式電池は、電池残量を使い切らなくても継ぎ足し充電が可能です。

■充電可能回数は

約 300 回です。
（充電しても持続時間が極端に短い場合は、寿命です。）

■充電式電池の買い替えは

以下の品番の、ニッケル水素充電式電池（別売り）をお買い求めください。

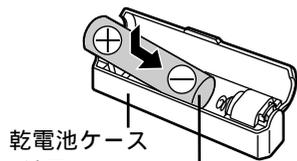
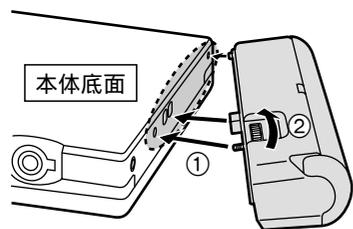
- HHF-1PSC/1B
- HHF-AZ01S/1B

ニッケル水素充電式電池について

使用済みの電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで下記マークのあるリサイクル協力店へお持ちください。

乾電池（別売り）で使う

単 3 形アルカリ乾電池（LR6）を使用します。乾電池は、パナソニックアルカリ乾電池をおすすめします。

1 乾電池を入れる
（⊖ 側に押しながら入れる）

2 本体に取り付ける

お願い

- 録音など、長時間ご使用になる場合は、AC アダプターでお使いになることをおすすめします。
- 乾電池を使って録音される場合は、必ず充電式電池を本体に入れた状態で録音してください。

■長時間使用するには

充電式電池と乾電池を併用してください。（電池持続時間については➡89 ページ）

電池残量のお知らせ機能

電池残量表示について

表示パネルに、次の 4 段階で表示されます。

電池残量表示が点滅したら
しばらくすると電源が切れます。充電式電池は充電し、乾電池は新しいものに交換してください。

電池切れお知らせアラームについて

電池残量表示が点滅し始めたら、「ピピピピッ」と 2 秒おきに 3 回鳴ります。

アラーム音を消したいとき
電源が入った状態で、下の表示が出るまで、リモコンの[T.MARK/EQ]を約 5 秒間押す。

リモコン表示

アラーム音を消す	BArmOFF
アラーム音を鳴らす	BArmON

お知らせ

聞いている音楽の種類や音量によってアラーム音が聞こえにくい場合があります。

AC アダプターで使う

AC アダプターを接続する

接続のしかたは、「充電式電池で使う」の手順 2(➡15 ページ）と同じです。

必ず付属の AC アダプターをご使用ください。付属以外の AC アダプターをご使用になると故障の原因になることがあります。

長期間使用しないときは

節電のため本体の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いておくことを、おすすめします。[■, OPR OFF]を押して電源を切った状態でも、AC アダプターが約 1.6 W の電力を消費しています。

お知らせ

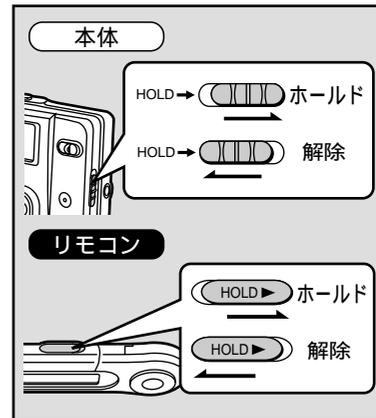
本機に、AC アダプターを接続したり、電池を入れたときに、正常に動作させるための初期設定の動作音がすることがありますが、異常ではありません。

HOLD（ホールド）機能

誤って操作ボタンが押されても受け付けないようにする機能です。

次のようなことを防ぎます。

- 使用していないときに電源が入り、電池が消耗する。
- 使用中に誤ってボタンが押され、録音、再生などの操作が中断する。

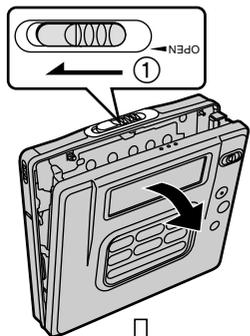
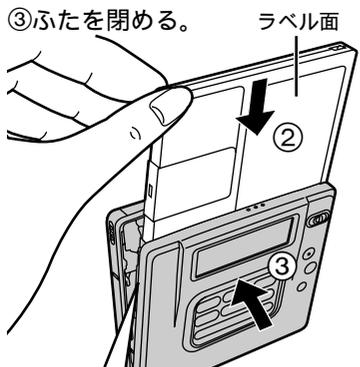
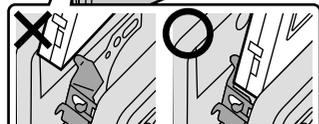
本体とリモコンにそれぞれ HOLD つまみがあり、別々に機能します。

■ “ HOLD ” 表示について

本　体
ホールド状態で操作ボタンを押すと数秒間“ HOLD ”と表示します。（電源切時は、[▶/❚❚, CHARA]、[REC ➞, LP MODE]を操作したときのみ表示します。）

リモコン
動作中、つまみの位置を[HOLD]にすると数秒間 “ HOLD ” と表示します。

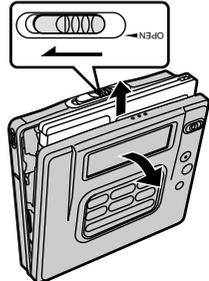
ご使用の前に（つづき）

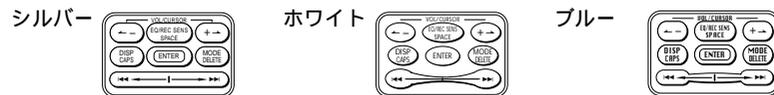
MDを入れる

①[OPEN ►]つまみを矢印の方向にスライドさせる
ふたが開きます。

②ディスクのラベル面をふた側にして,中央部を押して、ロックするまで差し込む。

③ふたを閉める。

約1分後自動的に電源が切れます

お知らせ
何も録音されていないディスクを入れたときは、“ BLANK DISC ”と表示されます。

ディスクを取り出すには

[OPEN ►]つまみを矢印の方向にスライドさせる
ふたが開いてディスクが出てきます。

フラットスイッチの使いかた

フラットスイッチを使うと、MDの編集やMDにタイトルをつけるときに、効率良く曲番を選んだり、文字を入力することができます。(➡ 44～62ページ)
(本機のカラーによって、フラットスイッチのデザインが異なります。この取扱説明書では、シルバータイプのイラストを使って説明しています。)

シルバー
ホワイト
ブルー
■ 以下の4つのパターンで曲番や文字を選ぶことができます。

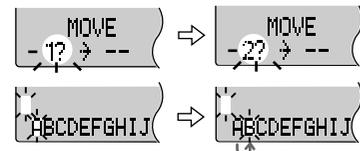
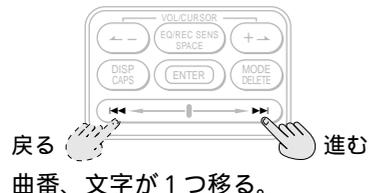
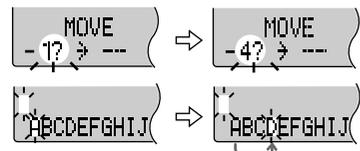
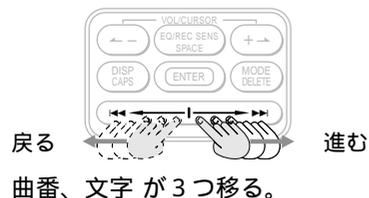
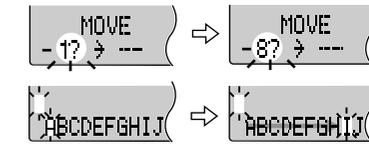
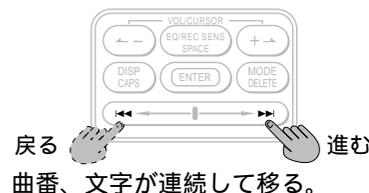
①ポンと押す

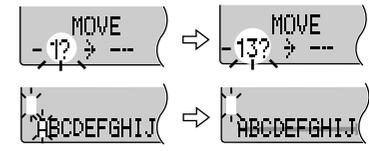
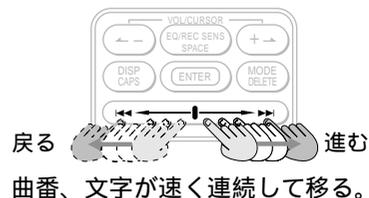
曲番、文字が1つ移る。

②なぞる(※)

曲番、文字 が3つ移る。

③押し続ける

曲番、文字が連続して移る。

④なぞって押し続ける

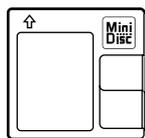
曲番、文字が速く連続して移る。

(※) 中心部（上図なら ❙ の部分）に軽く指を当て←― または ―→ の方向に指をスライドさせる。

録音する前に

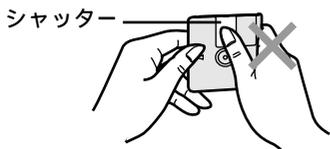
MDの種類

再生専用MD

ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。CDと同様の、この方式のMDを「光ディスク」といいます。

録音用MD

磁気によってデータが記録されます。この方式のMDを「光磁気ディスク」といいます。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない(また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがしたあとのあるMDは、故障の原因になりますので、機器に入れないでください。)
- シャッターは開けない

(万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には直接手を触れないでください。)

MDの用語解説

■トラックマーク

録音部分に記録される「区切り」のことです。ある区切りから次の区切りまでが1曲と数えられます。本機では次のような方法でトラックマークをつけることができます。

オートマークモード

レコーダー自体が自動的に曲の変わり目を判断して、トラックマークをつけていきます。

マニュアルマークモード

お好みの場所に、手動でトラックマークをつけることができます。

タイムマークモード

ある一定時間の間隔でトラックマークを自動的につけることができます。(会議などをこの方法でマイクを使って録音すると、一定時間の間隔で頭出しができます。)

■TOC(トック)(Table of Contents)

音楽信号とは別に、MDに記録されている情報のこと。曲数、総再生時間、MDのタイトル、曲名などをいいます。

■UTOC(ユートック)(User Table of Contents)

使用者の利用状況に応じて書き込まれたり、置き換えられたりするTOC情報のこと。MDの編集結果や、タイトル、曲名などのUTOC情報がMDに書き込まれるとき、本機は“ UTOC Writing ”と表示して注意を促します。

MDの録音・編集について

■MDの録音方式

デジタル接続

CD、MDなどのデジタル機器(光出力端子のある機器)をデジタル接続したときの録音

デジタル信号をそのままデジタルで録音します。ただしこの録音にはSCMSという制限があります。(右記参照)

アナログ接続

①CD、MDなどのデジタル機器をアナログ接続したときの録音

デジタル信号→アナログ信号→デジタル信号と順に変換して録音します。

②ラジオやテープなどアナログ機器の録音

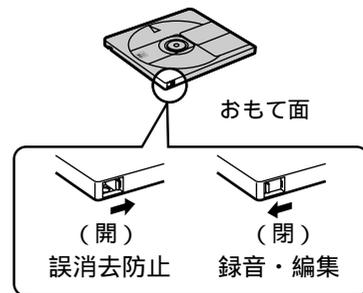
アナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。

録音をお楽しみいただくには、デジタル、アナログそれぞれの接続方式専用の接続コードをお買い求めください。(➠ 22、23ページ)

■デジタル録音の制限について(SCMS)

デジタル録音には、SCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)という制限があります。光デジタルケーブルを使って他のデジタル機器から本機に録音すると、信号劣化の少ないクリアなデジタル録音が行なえます。そこで著作権保護のため、このMDからさらに別のMDにはデジタル録音できないようになっています。
なおアナログ録音には、このようなしくみはありません。

■大切な録音を消さないために

誤消去防止つまみを、穴が開く方向にずらします。(新たに録音、編集するときは閉じてください。)

録音に必要な接続コード

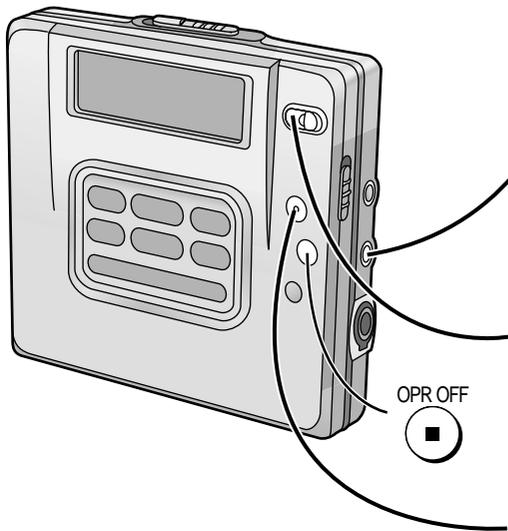
本機に接続する機器の種類によって、使用する接続コードや接続端子が異なりますので、下表でお確かめのうえ、正しく接続してください。

	接続する機器	接続する機器の接続端子／接続コード	本機の接続端子
基本の録音（他機器からの録音）	ポータブル CD プレーヤー	**デジタル接続** 光出力（丸型） 光ミニプラグ — 光ミニプラグ **RP-CA2210A**（別売り） ●ポータブル CD の耐振(音飛び防止)機能は“ OFF ”にしてください。 ●必ずポータブル CD の AC アダプターを接続して、AC 電源でお使いください。（電源が充電式電池や乾電池の場合は、光出力から信号が出ないため録音できません。）	OPT/ LINE IN
		アナログ接続 ヘッドホン／ライン出力 ステレオミニプラグ — ステレオミニプラグ **RP-CAM3G15**（別売り）	OPT/ LINE IN
	ラジカセ	**デジタル接続** 光出力（角型） 光角形プラグ — 光ミニプラグ **RP-CA2110A**（別売り）	OPT/ LINE IN
		アナログ接続 ヘッドホン／ライン出力 ステレオミニプラグ — ステレオミニプラグ **RP-CAM3G15**（別売り）	OPT/ LINE IN

- **本機の[OPT/LINE IN]端子はデジタル・アナログの兼用です。接続コードの種類によって、自動的にデジタル入力またはアナログ入力に切り換わります。**
- **アナログ接続で録音する場合、誤って本機のヘッドホン端子[🎧]に接続しないよう特に注意してください。誤って接続すると本機が故障するおそれがあります。**

適切な音量で録音するには

- 接続する機器によって、本機の録音感度を調節してください。(➡ 33 ページ)
- アナログ接続で再生側の機器のヘッドホン端子に接続した場合、接続した機器の音量を適切に調節してください。

基本の録音
（他機器からの録音）

はじめに

①ホールド状態を解除する。（➟ 17 ページ）
②録音用 MD を入れる。（➟ 18 ページ）
MD の誤消去防止つまみを閉じておいてください。（➟ 21 ページ）

1 録音する機器と接続する （➟ 22 ～ 23 ページ）

録音もとの機器
デジタル接続
光出力端子
アナログ接続
ヘッドホン／ライン出力端子

- 接続は、本機が停止中に行ってください。
- アナログ接続する場合[MIC(PLUG IN POWER)]端子には何も接続しないでください。

2 矢印の方向にスライドさせて録音待機状態にする

MDLP 長時間録音を行うときは ➟ 30 ページ

アナログ接続の場合、“ANALOG”と表示されます。

3 ❶ [▶/❚❚, CHARA]を押す ❷ 接続した機器を再生する

録音済みの MD を入れた場合は、自動的に前の録音部分の続きから録音されます。

適切な音量で録音するには

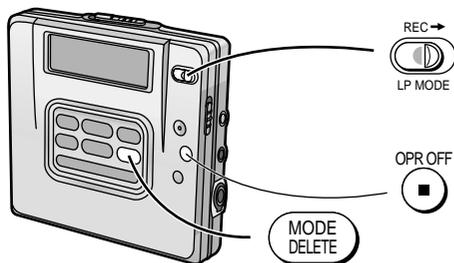
接続する機器によって、録音感度を調節してください。（➟ 33 ページ）

高音質録音について

通常ステレオ録音の場合、デジタル、アナログ、マイク、いずれの入力方式でも高音質録音が行なえます。（MD**LP** 録音モード（➟30 ページ）ではできません。）

録音待機状態にすると本体の表示パネルに“HDES”(High Density Encoding System)（ハイ デンシティー エンコーディング システム）と表示されます。

一時停止するには	録音中に CHARA ▶/❚❚	**押す** 曲番が 1 つ増えます。 **録音を再開するには** もう一度押す。
停止するには 停止状態 1 分間停止状態のままにすると、自動的に電源が切れます。	録音中に OPR OFF	**押す** “UTOC Writing”が表示され、UTOC を記録します。（➟ 20 ページ）
電源を切るには 電源切状態	停止中に OPR OFF	**押す**

基本の録音（つづき）

はじめに
- ホールド状態を解除する。
- 録音用 MD を入れる。

再生側に合わせて録音を始める

■**シンクロ録音**
録音もとの機器の入力音を検知して、自動的に録音を開始したり、一時停止します。

■ **1 曲シンクロ録音（連続 CD1 曲目ねらい取り機能）**［デジタル接続のみ］
CD の 1 曲目のみをシンクロ録音します。1 曲目の録音が終わると、録音待機状態になります。CD を交換し、再び 1 曲目を再生すると、録音が自動的に始まります。

1 **録音する機器と接続する**（➠ 22 ～ 23 ページ）

2
矢印の方向にスライドさせて
録音待機状態にする

3
押して
録音モードを選ぶ
押すと次のように切り換わります。

デジタル接続
シンクロ録音　**1 曲シンクロ録音**　通常録音
SYNC → **SYNC1** → 表示なし
↑_________________________↓

アナログ接続
シンクロ録音　通常録音
SYNC ⟷ 表示なし

録音モードを“ SYNC ”に設定すると CS/BS 放送、FM 放送など、音声信号が常に出ているソースの場合、自動的に録音が始まるのでご注意ください。

4 **接続した機器を再生する**
自動的に録音が始まります。

	シンクロ録音	1 曲シンクロ録音
一時停止するには 右のときに自動的に一時停止します。	接続した機器を停止したり、無音状態がアナログ接続で 2 秒以上、デジタル接続で 5 秒以上続いたとき (曲番が 1 つ増えます)	CD の 1 曲目が終わったとき (曲番が 1 つ増えます)
録音を再開するには 右のときに自動的に再開します。	再び音声が入ったとき	CD を交換し、再び 1 曲目を再生したとき

停止するには
録音中に[■, OPR OFF]を押す
1 分間停止状態のままにすると、自動的に電源が切れます。

電源を切るには
停止中に[■, OPR OFF]を押す

お知らせ
- **次のような場合、1 曲シンクロ録音はできません。**
  ・CD を 2 曲目以降から再生したとき
  ・2 枚組の CD などで、1 曲目の曲番が“ 1 ”と表示されない CD を録音しようとしたとき
- シンクロ録音、1 曲シンクロ録音中は、手動で操作して一時停止することはできません。
- マイクから録音するときはシンクロ録音できません。

トラックマークのつきかた

以下のときに自動的にトラックマークがつきます。

デジタル接続

CD や MD から録音する場合
CD や MD の曲番どおりに、トラックマークが曲の変わり目につきます。（ただし、CD や MD によっては、トラックマークが曲番どおりにつかないこともあります。）
CD や MD 以外のデジタルソースから録音する場合
5 秒以上の無音部分を曲の変わり目としてトラックマークがつきます。
手動でつけるには
(➠ 32 ページ)

アナログ接続

2 秒以上の無音部分を曲の変わり目としてトラックマークがつきます。
手動でつけるには
(➠ 32 ページ)

お知らせ
曲間が短い、曲間に雑音が多いなどの理由で、トラックマークがつかない場合があります。また無音部分や音の小さい部分があると、曲中でもトラックマークがつく場合があります。このようなときは、録音終了後に、編集機能を使ってトラックマークを修正してください。（➠ 44 ～ 54 ページ）

接続する機器について（デジタル接続の場合）

- ポータブル CD プレーヤーから録音するときは、AC アダプターを使用し、耐振機能を " OFF " にしてください。(詳しくはお手持ちのポータブル CD プレーヤーの説明書をご覧ください。)
- 本機はサンプリングレートコンバーター内蔵のため、CS/BS チューナーや DAT デッキなどサンプリング周波数の異なるデジタル機器に接続しても、自動的に本機の周波数に変換して、デジタル録音できます。

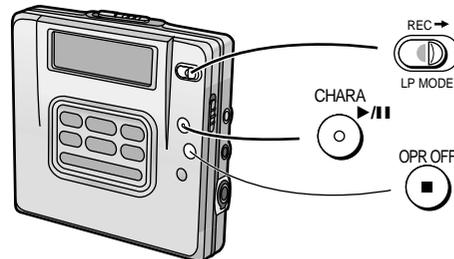
録音を正しく行うために

■電池の消耗による録音の失敗を防ぐために

電源はなるべく AC アダプターをお使いください。
- 電池使用時は、途中で電源が切れないように注意してください。
- 乾電池使用時は、必ず充電式電池を本体に入れた状態で録音してください。

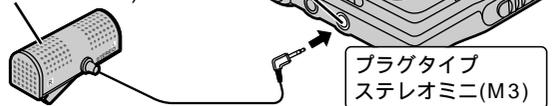
■録音中は振動を与えたり、ふたを開けたりしない

- 特に録音終了時の " UTOC Writing " 表示中（リモコンでは、" WRITE " 表示中）は注意してください。正しく録音できない場合があります。
- 録音、録音待機中はふたが開かないしくみになっています。無理に [OPEN ►] つまみを動かして、ふたを開けようとすると、故障の原因になります。

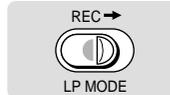
マイクからの録音

はじめに
- ホールド状態を解除する。
- 録音用 MD を入れる。

MDLP 長時間録音を行うときは ➠ 30 ページ

1 マイクを接続する

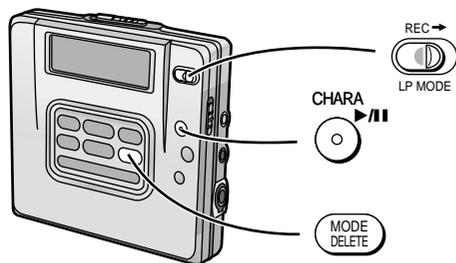
ステレオマイク（別売り：RP-VC200）
[MIC (PLUG IN POWER)]端子
プラグタイプ
ステレオミニ(M3)

- 接続は、本機が停止中に行ってください。
- [OPT/LINE IN]端子には何も接続しないでください。
- 本機の動作音が録音されないように、マイクを本機から遠ざけてください。

2 REC ➡ LP MODE
矢印の方向にスライドさせて
録音待機状態にする

3 CHARA ►/II

❶ [►/II, CHARA]を押す
❷ マイクに向かって音を出す

一時停止するには	**録音中に[►/II, CHARA]を押す**
録音を再開するには もう一度押す。	曲番が 1 つ増えます。
停止するには	**録音中に[■, OPR OFF]を押す** 1 分間停止状態のままにすると、自動的に電源が切れます。
電源を切るには	**停止中に[■, OPR OFF]を押す**

■トラックマークのつけかた
手動で、または一定時間の間隔を設定すると、その間隔で自動的につきます。（➠ 32 ページ）
■お使いいただけるマイク
ステレオマイク（別売り：RP-VC200、RP-VC300）をお買い求めください。

MDLP長時間録音

はじめに
- **ホールド状態を解除する。**
- **録音用 MD を入れる。**

ステレオ録音で 2 倍（LP2）または 4 倍（LP4）の長時間録音ができます。

1 **録音する機器と接続する**（➠ 22 ～ 23 ページ）

2

矢印の方向にスライドさせて
録音待機状態にする

3

さらに矢印の方向にスライドさせて
録音モードを選ぶ
スライドさせると次のように切り換わります。

2 倍長時間（LP2 ステレオ）録音

4 倍長時間（LP4 ステレオ）録音

ステレオ録音（表示なし）

下に表示される LP2、LP4 は数秒間表示して消えます。

4

❶ [▶/❚❚, CHARA]を押す
❷ 接続した機器を再生する

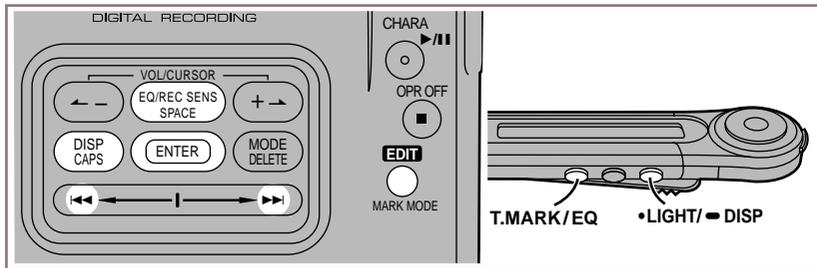
手順 3 のあと、[MODE, DELETE]を押してシンクロ録音（デジタル接続／アナログ接続）、1 曲シンクロ録音（デジタル接続）にすることもできます。（➠ 26 ページ）

■それぞれの録音モードの録音時間について

80 分ディスクを使った場合、録音可能時間は以下のようになります。

録音モード	表示	録音可能時間
ステレオ録音	表示なし	最大 80 分
2 倍長時間（LP2 ステレオ）録音	LP2	最大 160 分
4 倍長時間（LP4 ステレオ）録音	LP4	最大 320 分

お知らせ
- 1 枚の MD に通常のステレオ録音、2 倍長時間（LP2 ステレオ）録音、4 倍長時間（LP4 ステレオ）録音を混ぜて録音することができます。
- MDLP 長時間録音された曲は、曲名の頭に自動的に「LP :」という文字が付きますが、本機では表示されません。（ただし、タイトルステーション機能（➠ 61 ページ）で通常ステレオ録音された曲に「LP :」の文字が付いたタイトルがコピーされた場合、“ LP : ” が表示されます。）
- 4 倍長時間（LP4 ステレオ）録音は、特殊な圧縮方式によって長時間録音を実現しているため、録音されるものによっては、ごくまれに瞬間的な雑音が入る恐れがあります。音質を重視する場合は、通常のステレオ録音または 2 倍長時間（LP2 ステレオ）録音をおすすめします。
- 電池を入れ替えたり、AC アダプターを抜き差しすると、録音モードは通常ステレオ録音に戻ります。

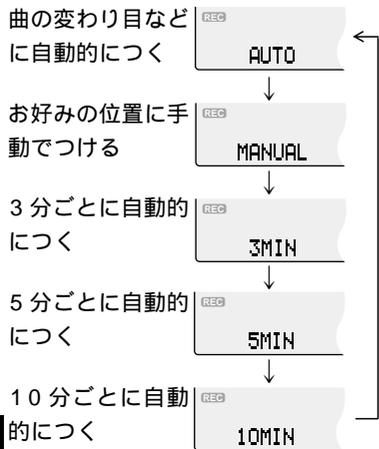
録音に便利な機能

トラックマークのつけかた

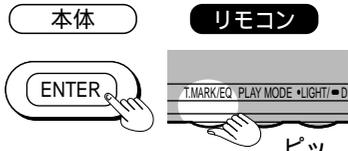
本機が自動的にトラックマークをつける方法（オートマークモード）の他、手動でつける方法（マニュアルマークモード）や一定の間隔で自動的につける方法（タイムマークモード）があります。

録音待機中（➡24ページ）**に押して、お好みのつけかたを選ぶ**

EDIT
MARK MODE

表示中に押すと、以下のように切り換わります。

曲の変わり目などに自動的につく
お好みの位置に手動でつける
３分ごとに自動的につく
５分ごとに自動的につく
１０分ごとに自動的につく

■手動でつけるには

録音中に、トラックマークをつけたい位置で押す。

“MANUAL”以外を選んだときも、上の操作でトラックマークを手動でつけることができます。

お知らせ

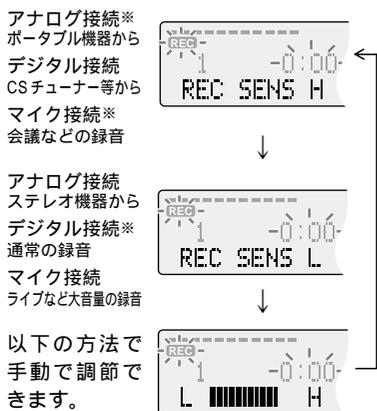
マイクから録音するとき、“AUTO”は選べません。

録音感度を調節する

デジタル、アナログ、マイクすべての録音方式で調節することができます。

録音待機中に押す

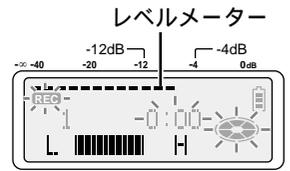
表示中に押すと、以下のように切り換わります。（※はそれぞれの接続方式の初期値）

アナログ接続※ ポータブル機器から
デジタル接続 CSチューナー等から
マイク接続※ 会議などの録音
↓
アナログ接続 ステレオ機器から
デジタル接続※ 通常の録音
マイク接続 ライブなど大音量の録音
↓
以下の方法で手動で調節できます。

■録音レベルを手動で調節するには

1 接続した機器を再生する

2 押す

レベルを低く　レベルを高く

レベルメーターが−12dBから−4dBの間に達するように調節してください。

お知らせ

- 録音中に設定を変えることはできません。
- アナログ接続、マイク接続で設定がREC SENS H, Lのとき、録音レベルは自動的に調節されます。またお好みに合わせて手動で調節することもできます。
- 一旦録音を終えると設定は解除されます。次に録音待機状態にしたとき、必要に応じて設定し直してください。
- デジタル接続の場合、録音感度の設定を変えてもインサイドホンから聞こえる音の大きさは変化しません。

残り時間を確かめる

録音待機中や録音中に、録音できる残り時間を確かめることができます。（録音モードがLP2,LP4の場合はそれぞれのモードに対応した残り時間が表示されます。）

録音待機中、または録音中に

本体
押す

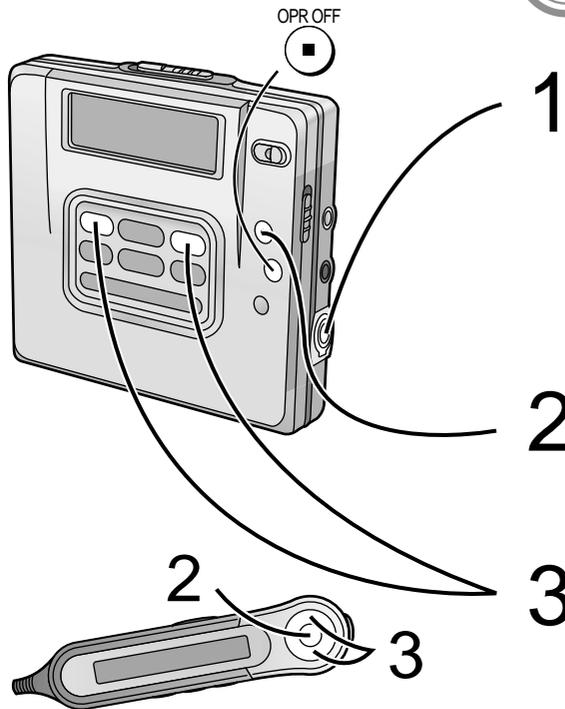
DISP CAPS

リモコン
ピッと鳴るまで長押しする

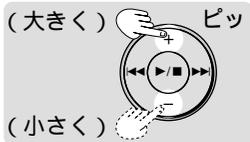
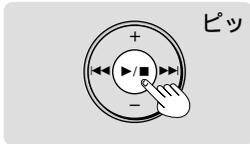
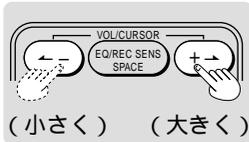
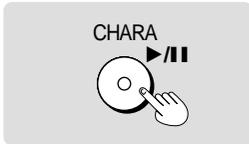
ピッ

押すたびに、以下のように切り換わります。

↓

基本の聞きかた

はじめに

①ホールド状態を解除する。(➠ 17 ページ)
②MDを入れる。(➠ 18 ページ)

1 リモコンとステレオインサイドホンをつなぎ、[🎧]端子に接続する

	リモコン	本体	
2	ピッ	CHARA ▶/❚❚	押して **再生を始める** 全曲の再生を終了すると自動的に停止します。
3	(大きく) ピッ (小さく)	VOL/CURSOR EQ/REC SENS SPACE (小さく) (大きく)	押して **音量を調節する** 音量レベルは 0～25 まで (押し続けると連続的に切り換わります。) VOLUME 12

	リモコン	本体	
一時停止するには	リモコンでは一時停止できません。	再生中に CHARA ▶/❚❚	押す 再生を再開するにはもう一度押す。
停止するには 停止状態 1 分間停止状態のままにすると、自動的に電源が切れます。	ピッ	再生中に OPR OFF	押す
電源を切るには 電源切状態	停止後、約 1 分すると自動的に電源が切れます。	停止中に OPR OFF	押す

■**リジューム機能**

停止後、または電源が切れたあと、本体の[▶/❚❚, CHARA]、またはリモコンの[▶/■]を押すと、停止したところから再生します。ただし、ディスクを取り替えたり、電池を入れ直した場合は、1曲目から再生します。

■**長時間再生**

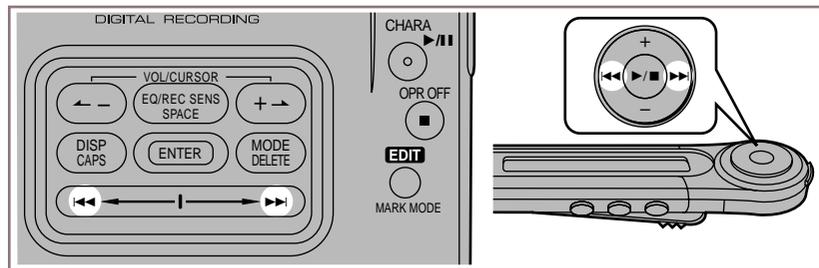
● **MDLP ステレオ再生（2倍、4倍長時間再生）**
MDLP（LP2、LP4）モードで長時間ステレオ録音（➠ 30ページ）された曲を再生することができます。
（表示パネルに“LP-2”あるいは“LP-4”が表示されます。）

● **モノラル再生**
モノラル録音モードで録音されたディスクを再生することができます。
（表示はされません。）

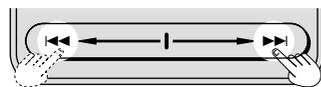
ディスク再生時に、録音された方法によって、通常のステレオ再生、2倍長時間ステレオ(LP2)再生、4倍長時間ステレオ(LP4)再生、モノラル再生が自動的に切り換わります。

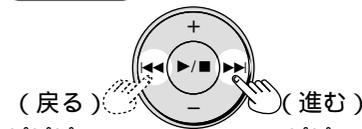
お知らせ

● 再生中に、リモコンの表示が消えたり、表示内容に異常が見られたときは、いったんリモコンのプラグを本体から抜き、もう一度しっかりと差し込んで下さい。
● 本機は振動に対して、音飛びしにくくなっていますが、連続した振動に対しては、音が途切れる場合があります。

いろいろな聞きかた

曲を前後にとび越す（スキップ機能）

再生中に押す

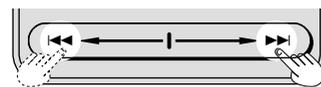
本体

（戻る）　（進む）

リモコン

（戻る）ピピピッ　（進む）ピピッ

● [|◀◀]または[▶▶|]をくり返し押すと、連続して曲をとび越せます。
● [▶▶|]を1回押すと次の曲の頭から、[|◀◀]を1回押すと再生中の曲の頭から聞くことができます。

早送り・早戻し（サーチ機能）

再生中に押し続ける

本体

（早戻し）　（早送り）

リモコン

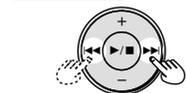
（早戻し）　（早送り）

● 早送り状態で最終曲の終わりまでくると、指を離したとき停止状態になります。
● 早戻し状態で1曲目の頭までくると、指を離したとき1曲目の再生になります。

いろいろな聞きかた（つづき）

好みの曲やグループから聞く（トラック／グループ指定機能）

お好みの曲から聞くには

1 停止中にポンと押して曲を選ぶ

お好みのグループから聞くには

グループの設定を行ったMD（➠ 50ページ）では、グループ単位での曲の頭出しができます。

1 停止中に長押ししてグループを選ぶ

2 押して、選んだ曲または選んだグループの1曲目から再生する

選んだ曲、または選んだグループの最初の曲からディスクの最終曲まで順に再生します。

- 最初の曲（グループ）で［|◀◀］を押す（長押しする）と最終の曲（グループ）になります。
- 最終の曲（グループ）で［▶▶|］を押す（長押しする）と最初の曲（グループ）になります。
- ［|◀◀］または［▶▶|］を押したままにすると、グループが連続して変わります。

くり返し聞く（リピートプレイ）／順不同に聞く（ランダムプレイ）

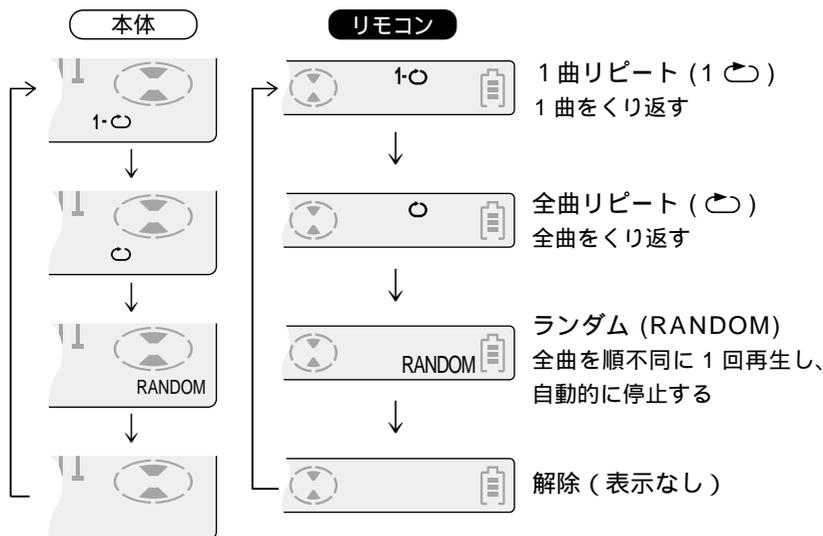
再生中または停止中に押す

押すたびに以下のように切り換わります。

1曲リピート（1 ⟳）
1曲をくり返す

全曲リピート（⟳）
全曲をくり返す

ランダム（RANDOM）
全曲を順不同に1回再生し、自動的に停止する

解除（表示なし）

- 全曲リピートプレイの状態にしておくと、再生中でも1曲目、最終曲をはさんでの曲のとび越し、早送り、早戻しができます。
- ランダムプレイ中は、再生し終わった曲へのとび越し、早戻しはできません。
- ディスクを取り替えたときは、もう一度設定し直してください。
- 停止中に操作したときは、本体では[▶/❚❚, CHARA]、リモコンでは[▶/■]を押して、再生を始めてください。

音質を変える

再生中または停止中に押す

本体

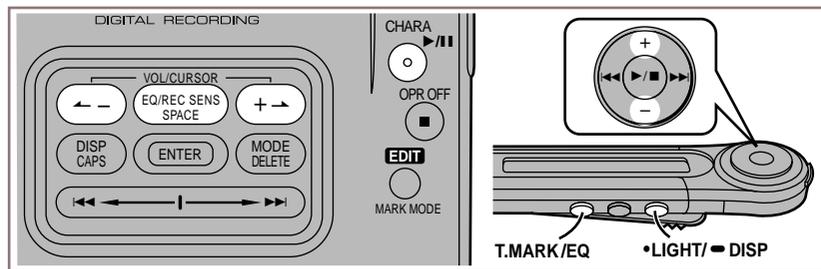
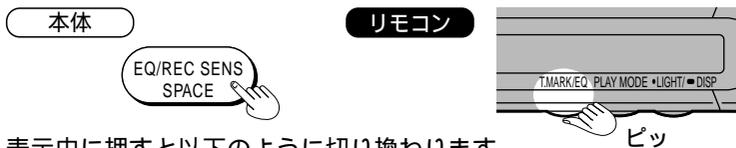
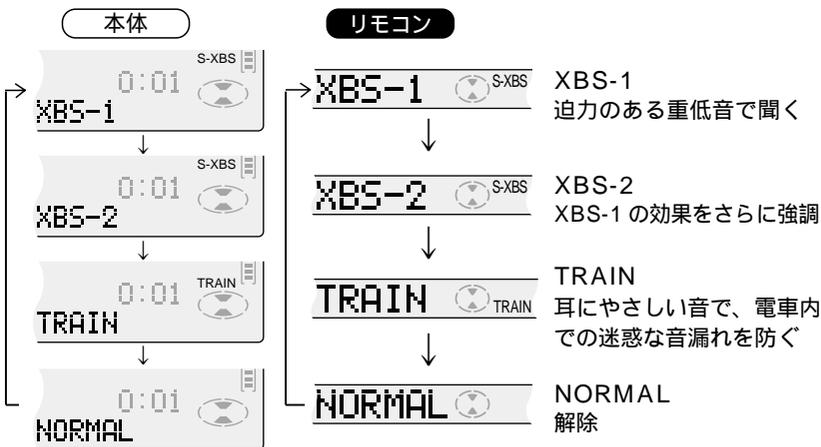
リモコン

ピッ

表示中に押すと以下のように切り換わります。

XBS-1
迫力のある重低音で聞く

XBS-2
XBS-1 の効果をさらに強調

TRAIN
耳にやさしい音で、電車内での迷惑な音漏れを防ぐ

NORMAL
解除

- カーオーディオに接続して聞くときは（➡ 64 ページ）設定を **NORMAL**（解除）にしてください。
- 停止中に操作したときは、本体では[▶/❚❚, CHARA]、リモコンでは[▶/■]を押して、再生を始めてください。

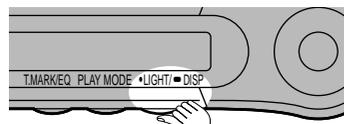
その他の便利な機能

表示パネルについて

リモコンの表示パネルを点灯させるには

- リモコン操作時に約 5 秒間点灯し、暗い所で使うのに便利です。
- 曲名、ディスク名のスクロール時（文字が左に移動）は、スクロールが終わるまで点灯し続けます。（ただし最大 20 秒間です。）

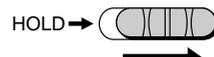
■表示内容だけ確認する場合

再生中または停止中に押す

表示パネルが約 5 秒間点灯します。

コントラストを調整するには

本体とリモコンの表示パネルを、それぞれコントラスト調整することができます。

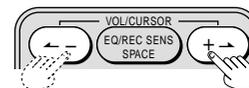
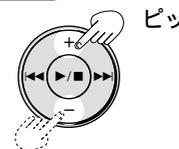
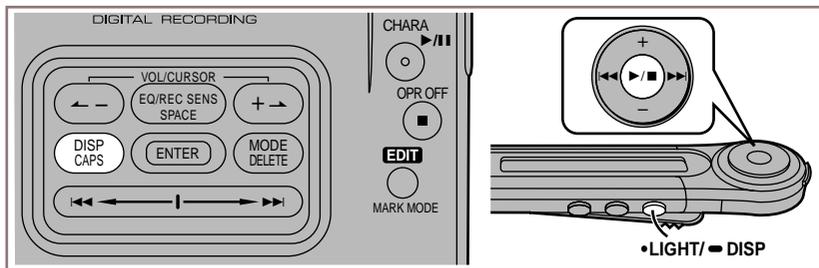
1 電源を入れて、本体をホールド状態にする（➡17 ページ）

HOLD➡

2 ①押しながら（本体）

②くり返し押す

本体

リモコン

ピッ

押すごとに、コントラストが少しずつ変化します。
－：うすく　＋：こく

表示パネルについて(つづき)

表示内容を切り換える

本体

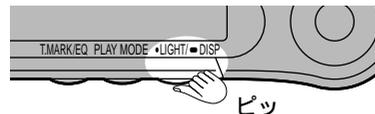
再生中または停止中に押す

➡ 押すたびに切り換わります
⇨ 数秒表示した後、自動的に切り換わります

録音残り時間は、その時設定されている録音モード（通常、LP2、LP4）に応じて表示されます。

リモコン

再生中または停止中にピッと鳴るまで長押しする。

曲名

G 1*CL

グループ名

MY BE

ディスク名

3 66:20

総曲数　総再生時間

曲番　再生経過時間

- グループ名の前には“ ＊ ”、ディスク名の前には“ ”（ディスクマーク）が表示されます。
- 曲名、グループ名、ディスク名が入っていないディスク では本体では“ NO TITLE ”リモコンでは“ ”が表示されます。
- 表示中の曲番がグループに属していないときはグループ名に“ G--* ”が表示されます。（リモコンではその後“ ＊ ”のみ表示されます。）

リモコンの操作受付音について

リモコンの操作ボタンを押すと、“ ピッ ”などの操作受付音が鳴ります。（受付音の鳴りかたについては、各操作の説明をご参照ください。）

■操作受付音を消すには
次の表示が出るまで押し続ける

音を消すとき	音が鳴るようにするとき ピッと鳴ります
BeepOFF	BeepON

本体にも同様の表示が出ます。

お知らせ

再生中に操作した後、そのままの状態にしておくと、約 1 分後、自動的に電源が切れます。

再生してみよう

MDを編集する

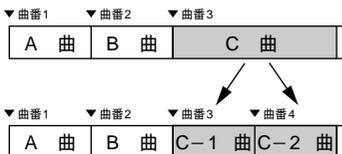
こんなことができます

1曲を2曲に分ける
(DIVIDE)（➡45ページ）

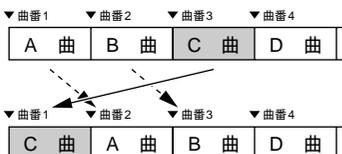
例）曲番3を2つに分ける

録音した曲を1曲ずつ消す
(TRACK ERASE)（➡48ページ）

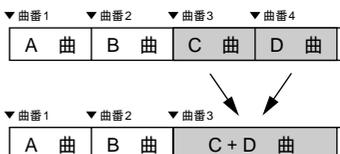
例）曲番2を消す

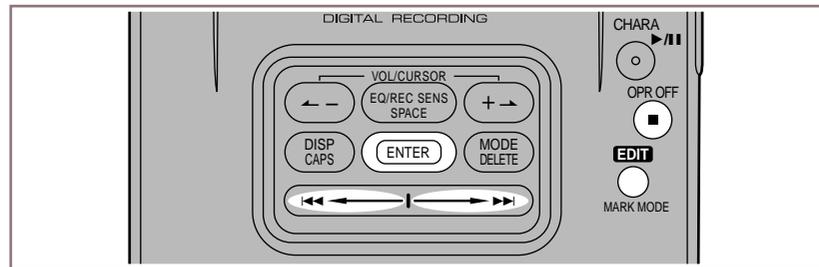
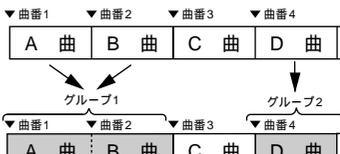
曲の消去後は、後ろの曲が前に詰められ、曲番も1つずつ減ります。

曲を移動する
(MOVE)（➡46〜47ページ）

例）曲番3を1曲目に移動する

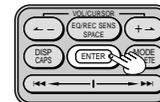
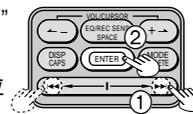
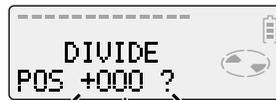
2曲を1曲にまとめる
(COMBINE)（➡49ページ）

例）曲番3と曲番4を1つにまとめる

録音した曲を全て消す
(ALL ERASE)（➡47ページ）

1度に全曲を消す

曲をグループにまとめる
(GROUP)（➡50〜54ページ）

例）曲番1と曲番2、曲番4をそれぞれグループにする

曲番を選ぶときのフラットスイッチの操作方法は19ページを参照してください。

1曲を2曲に分ける（ディバイド）

1 分けたい曲の再生中に押す

2
①押して“DIVIDE？”を選ぶ
②曲を分けたい位置で押す

確認の表示が出ます。

押した位置からの約4秒間が（モノラル、LP2録音では約8秒間、LP4録音では16秒間）くり返し演奏されます。

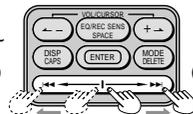
■分けた位置がずれているとき
押して（なぞって）位置を調整する

前後8秒で調整できます。（モノラル、LP2録音では16秒、LP4録音では32秒）

−128〜（約8秒）　〜+127（約8秒）

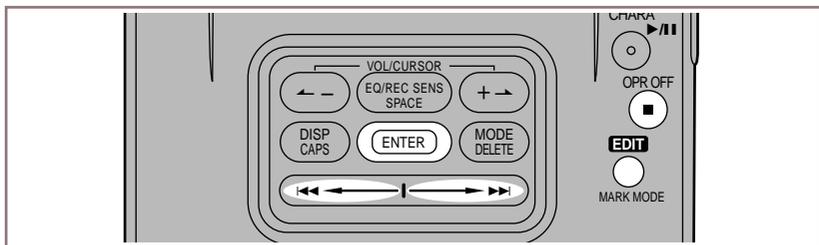
3 押して確定する

確認の表示が出ます。

4 押す

“UTOC Writing”が表示され、消灯後、編集が完了し停止状態になります。

■編集を途中で止めるには
手順4を行う前に[■, OPR OFF]を押す

お知らせ
- タイトルがついている曲を分けると、後ろの曲はタイトルなしとなります。
- ディバイド機能は、停止中に行うことはできません。

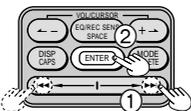
MD を編集する（つづき）

曲番を選ぶときのフラットスイッチの操作方法は 19 ページを参照してください。

曲を移動する（ムーブ）

（例： 2 曲目を 3 曲目に移動する。）

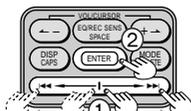
1 停止中に押す

2

①押して"MOVE ？"を選ぶ

②押して確定する

移動する曲番を選ぶ表示画面になります。

3

①押して（なぞって）移動する曲番を選ぶ

②押して確定する

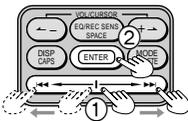
曲番下がる　曲番上がる

移動先の曲番を選ぶ表示画面になります。

MOVE
2 → 2?

移動する曲番　移動先の曲番

4

①さらに押して（なぞって）移動先の曲番を選ぶ

②押して確定する

曲番下がる　曲番上がる

確認の表示が出ます。

5 押す

" UTOC Writing " が表示され、消灯後、編集が完了し停止状態になります。

■編集を途中で止めるには

手順 5 を行う前に[■, OPR OFF]を押す

再生（一時停止）中に行うときは

1 移動したい曲の再生(一時停止)中に[EDIT, MARK MODE]を押す

2 ①[⏮ , ⏭] を押して、"MOVE ？"を選ぶ

②[ENTER]を押して確定する

3 ①[⏮ ←—,—→ ⏭]を押して（なぞって）、移動先の曲番を選ぶ

②[ENTER]を押して確定する

確認の表示が出ます。

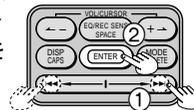
4 [EDIT, MARK MODE]を押す

" UTOC Writing " が表示され、消灯後、編集が完了し停止状態になります。

全曲を消す（オール　イレース）

1 停止中に押す

2

①押して"ALL ERASE ？"を選ぶ

②押して確定する

確認の表示が出ます。

3 押す

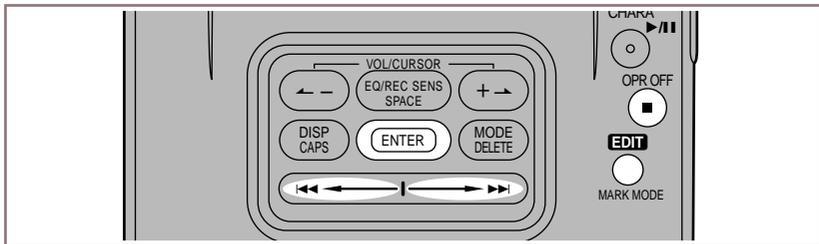
" UTOC Writing " が表示され、消灯後、編集が完了し停止状態になります。（" BLANK DISC " が表示されます。）

■編集を途中で止めるには

手順 3 を行う前に[■, OPR OFF]を押す

お知らせ

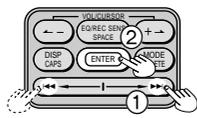
オール　イレース機能は、再生（一時停止）中に行うことはできません。

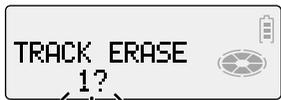
編集してみよう

曲番を選ぶときのフラットスイッチの操作方法は 19 ページを参照してください。

1 曲ずつ消す（トラック　イレース）

1 停止中に押す

2

①押して“TRACK ERASE ? ”を選ぶ

②押して確定する

曲番を選ぶ表示画面になります。

TRACK ERASE
1?

3

①押して（なぞって）消したい曲番を選ぶ

②押して確定する

確認の表示が出ます。

TRACK ERASE
10 OK?

4 押す

“ UTOC Writing ” が表示され、消灯後、編集が完了し停止状態になります。

■編集を途中で止めるには

手順 4 を行う前に[■, OPR OFF]を押す

再生（一時停止）中に行うときは

1 消したい曲の再生（一時停止）中に[EDIT, MARK MODE]を押す

2 ①[|◀◀ , ▶▶|] を押して、“TRACK ERASE? ”を選ぶ

②[ENTER]を押して確定する

確認の表示が出ます。

3 [EDIT, MARK MODE]を押す

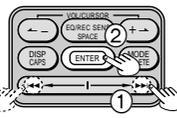
“ UTOC Writing ” が表示され、消灯後、編集が完了し停止状態になります。

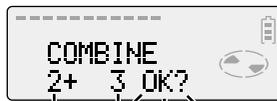
2 曲を 1 曲にまとめる（コンバイン）

（例：2 曲目と 3 曲目をまとめる。）

1 まとめる 2 曲のうち、後ろの曲の再生（一時停止）中に押す

2

①押して“ COMBINE ? ”を選ぶ

②押して確定する

確認の表示が出ます。

上記の場合､曲番 2 の終端 8 秒間と、曲番 3 の曲頭 8 秒間が、くり返し演奏されます。（モノラル、LP2 録音では 16 秒、LP4 録音では 32 秒）

3 押す

“ UTOC Writing ” が表示され、消灯後、編集が完了し停止状態になります。

■編集を途中で止めるには

手順 3 を行う前に[■, OPR OFF]を押す

停止中に行うときは

1 停止中に[EDIT, MARK MODE]を押す

2 ①[|◀◀ , ▶▶|] を押して、“ COMBINE ? ”を選ぶ

②[ENTER]を押して確定する

まとめる 2 曲を選ぶ表示画面になります。

3 ①[|◀◀ ←, → ▶▶|]を押して（なぞって)、まとめる 2 曲の曲番を選ぶ

②[ENTER]を押して確定する

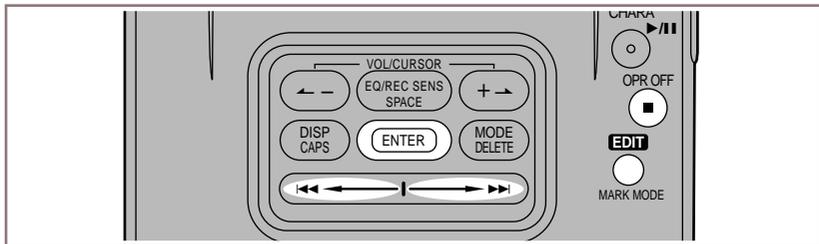
確認の表示が出ます。

4 [EDIT, MARK MODE]を押す

“ UTOC Writing ” が表示され、消灯後、編集が完了し停止状態になります。

お知らせ

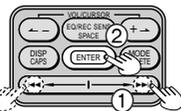
- 曲名は前の曲のものになります。
- コンバインの操作ができない原因として、次のようなものがあります。
  - ・1 曲目の再生中に、コンバインの操作を行ったとき
  - ・まとめようとする 2 曲が通常ステレオ録音、モノラル、LP2、LP4 それぞれ異なる録音モードで録音されているとき

編集してみよう

曲番を選ぶときのフラットスイッチの操作方法は 19 ページを参照してください。

曲をグループにまとめる（グループ）

次のようなことができます

- **連続した何曲かをグループにまとめてタイトルをつける**
  (GROUP **SET**)
- **グループタイトルを変更する**
  (GROUP **TITLE**)
- **グループ を解除する**
  (GROUP **RELEASE**)

1 停止中に押す

2
①押して"GROUP？"を選ぶ
②押して確定する

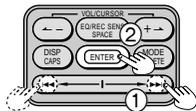
機能を選ぶ表示画面になります。

3
①押して機能を選ぶ

押すたびに以下のように切り換わります。

SET?
↓↑
TITLE?
↓↑
RELEASE?

②押して確定する

選んだ機能の操作へ

GROUP SET ➠ 51 ページ
GROUP TITLE ➠ 53 ページ
GROUP RELEASE ➠ 54 ページ

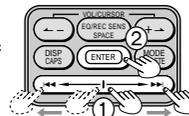
グループをつくるには (GROUP SET)

グループは最大 99 個まで作れます。

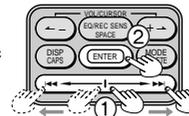
（例：3～4 曲目をグループにまとめる。）

50 ページ手順 3 の結果

グループにまとめる最初の曲を選ぶ表示画面になります。

4
①押して（なぞって）最初の曲番を選ぶ

②押して確定する

グループにまとめる最後の曲を選ぶ表示画面になります。

5
①押して（なぞって） 最後の曲番を選ぶ

②押して確定する

新しくできたグループ番号が表示されます。

2 秒表示した後

文字入力画面 になります。

6 グループタイトルを文字入力する（➠ 58 ページ）

7 押す

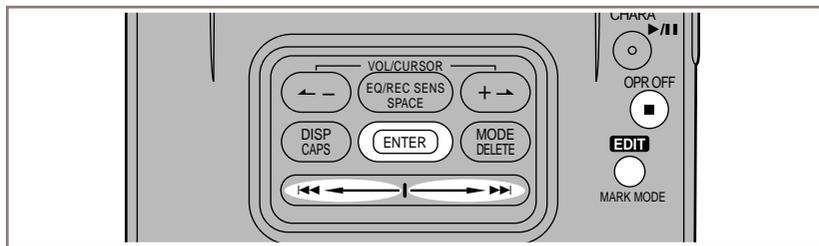
" UTOC Writing " が表示され、消灯後、編集が完了し停止状態になります。

■編集を途中で止めるには

手順 7 を行う前に[■, OPR OFF]を押す

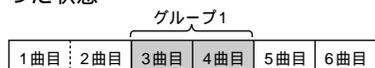
☞ **次ページに続く**

編集してみよう

MD を編集する（つづき）

曲番を選ぶときのフラットスイッチの操作方法は 19 ページを参照してください。

曲をグループにまとめる（グループ）（つづき）

５０～５１ページの手順１～７を行った状態

1曲目	2曲目	3曲目	4曲目	5曲目	6曲目
		グループ1	グループ1		

■ 2 つめのグループをつくる

同様の手順で 5 曲目をグループにする。

1 曲だけでもグループにすることができます。

■ 3 つめのグループをつくる

同様の手順で 1 曲目から 2 曲目をグループにする。

曲の並びの順にグループ番号が付きかわります。

1曲目	2曲目	3曲目	4曲目	5曲目	6曲目
グループ1	グループ1	グループ2	グループ2	グループ3	

曲をグループにまとめられない例

- 連続していない曲どうしをグループにまとめることはできません。

1曲目	2曲目	3曲目	4曲目	5曲目	6曲目
		グループ1	グループ1		
	グループ2 ✕			グループ2 ✕	

- 1 曲を複数のグループに入れることはできません。

1曲目	2曲目	3曲目	4曲目	5曲目	6曲目
		グループ1	グループ1		
			グループ2 ✕	グループ2 ✕	

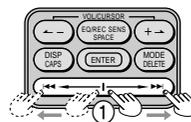
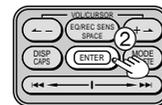
グループタイトルを変更するには（GROUP TITLE）

（例： グループ 3 のタイトルを変更する）

50 ページ手順 3 の結果

タイトルを変更するグループを選ぶ表示画面になります。

4

①押して（なぞって） タイトルを変えたいグループを選ぶ

②押して確定する

文字入力画面 になります。

現在登録されているグループ名

5 新しいグループタイトルを文字入力する**(➠ 58 ページ)**

6 押す

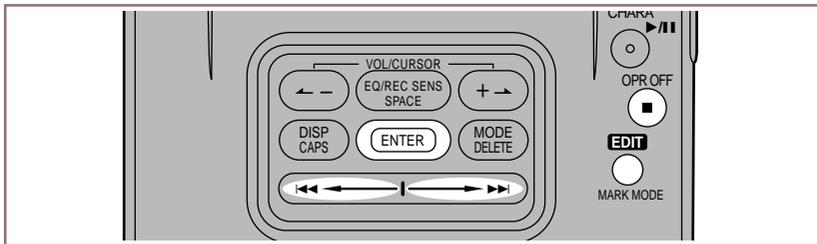
“ UTOC Writing ” が表示され、消灯後、編集が完了し停止状態になります。

■編集を途中で止めるには

手順 6 を行う前に[■, OPR OFF] を押す

お知らせ

- グループ処理を行った MD に編集操作（DIVIDE, MOVE など）を行うと、編集内容に応じて自動的に UTOC 情報が更新されます。
- 本機でグループ処理を行った MD を、グループ管理機能に対応していない機種で編集操作を行うとグループの管理情報が使えなくなる可能性があります。
- 本機でグループ処理を行った MD を、グループ管理機能に対応していない機種で再生するとディスクタイトルが下記の例のように正しく表示されません。

例）0; MY BEST//1-3;CLASSIC//4-8 ...

曲番を選ぶときのフラットスイッチの操作方法は19ページを参照してください。

曲をグループにまとめる（グループ）（つづき）

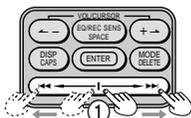
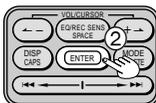
グループを解除するには（GROUP RELEASE）

（例：グループ2を削除する）

50ページ手順3の結果

削除するグループを選ぶ表示画面になります。

4

①押して（なぞって）削除したいグループを選ぶ

②押して確定する

確認の表示が出ます。

5 押す

“UTOC Writing”が表示され、消灯後、編集が完了し停止状態になります。

■編集を途中で止めるには

手順5を行う前に[■, OPR OFF]を押す

MDにタイトルをつける

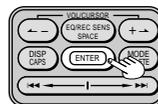
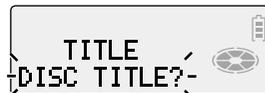
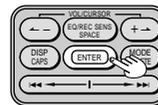
曲やディスクにタイトルをつける

- ディスク名は最大100文字、曲名は1曲につき通常録音されたもので最大100文字、MDLP長時間録音されたもので最大97文字まで入力できます。
- 1枚のMDには最大1792文字まで入力できます。ただし、MDLP長時間録音をしたり、グループの設定をすると入力できる文字数は減ります。(➠ 57ページ)

ディスクにつける場合

1 停止中に押す

“TITLE（タイトル）？”が表示されます。

2 押す

下の表示画面になります。

3 押して確定する

文字入力画面 になります。

4 ディスクタイトルを文字入力する（➠ 58ページ）

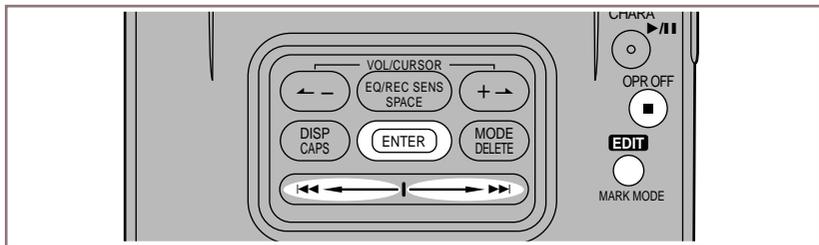
5 押す

“UTOC Writing”が表示され、消灯後、編集が完了します。

■ディスクのタイトルを入力したあとは

自動的に曲のタイトルをつける表示画面になります。「**曲につける場合**」(➠ 56ページ）の手順を行ってください。

■タイトル入力を途中で止めるには

手順5を行う前に[■, OPR OFF]を押す

MD にタイトルをつける（つづき）

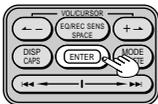
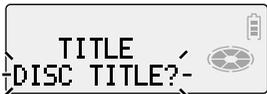
文字を選ぶときのフラットスイッチの操作方法は 19 ページを参照してください。

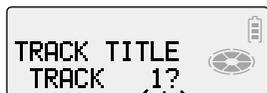
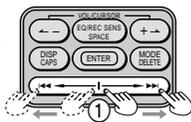
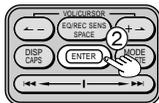
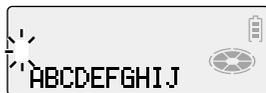
曲やディスクにタイトルをつける（つづき）

曲につける場合

1 停止中に押す

“ TITLE ？ ” が表示されます。

2 押す

下の表示画面になります。

3
①押して（なぞって）タイトルをつける曲番を選ぶ

TRACK TITLE
TRACK 1?

②押して確定する

文字入力画面 になります。

4 トラックタイトルを文字入力する（➠ 58 ページ）

5 押す

“ UTOC Writing ” が表示され、消灯後、編集が完了します。

そのあと、再びタイトルをつける曲番を選ぶ表示画面になり、続けてタイトルを入力することができます。

■タイトル入力を途中で止めるには

手順 5 を行う前に[■, OPR OFF]を押す

再生（一時停止）中に行うときは

曲につける場合のみ

1 タイトルをつけたい曲の再生（一時停止）中に[EDIT, MARK MODE]を押す

“ TRACK TITLE ？ ” が表示されます。

2 [ENTER]を押して確定する

文字入力画面になります。

3 トラックタイトルを文字入力する（➠58 ページ）

4 [EDIT, MARK MODE]を押す

“ UTOC Writing ” が表示され、消灯後、編集が完了し停止状態になります。

お知らせ

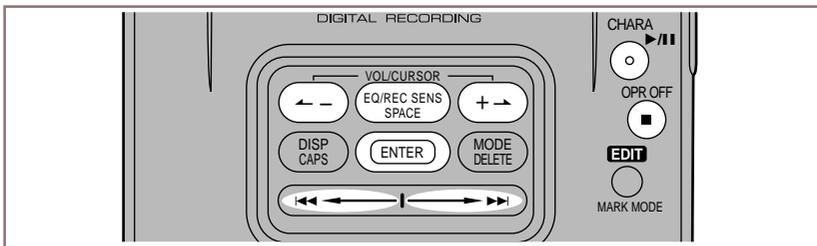
再生中に曲のタイトルをつけたとき、編集が終わるまで、その曲はくり返し演奏されます。

タイトル入力できる文字数について

- 100 文字を超えるタイトルがついているディスクを、本機でタイトルの変更をしたりする場合、“ TITLE OVER ” が表示されたあと、文字入力画面に入ります。ただし [EDIT, MARK MODE]を押し、編集を完了した時点で 100 文字を超える文字は削除されます。
- MDLP 長時間録音された曲にはトラックタイトルに「LP:」とスペース 4 文字分が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数は減ります。またグループの設定をすると、グループの管理情報が記録されるため、同様に入力できる文字数は減ります。カナ文字で入力する場合はその約半分の文字数になります。

例 1）
50 曲を MDLP 長時間録音し、4 グループ設定した場合
➠ 1 タイトル平均
英数字では約 25 文字、カナ文字では約 11 文字入力できます。

例 2）
100 曲を MDLP 長時間録音し、4 グループ設定した場合
➠ 1 タイトル平均
英数字では約 10 文字、カナ文字では約 4 文字入力できます。

MD にタイトルをつける（つづき）

文字を選ぶときのフラットスイッチの操作方法は 19 ページを参照してください。

文字入力のしかた

（例：“ D ”を入力する。）

準備 **文字入力画面** にする。

（➡ 50～56 ページ）

1 押して、文字の種類を選ぶ

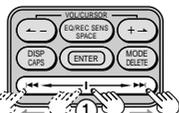
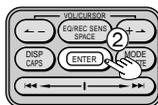
押すたびに以下のように切り換わります。

英大文字 → 英小文字
↑　　　　　↓
数字／記号 ← カタカナ

2

①押して（なぞって）、文字選択部の入力したい文字にカーソルを合わせる

左に移動　　右に移動

②押して、文字を確定する

文字入力部
文字選択部
D
ABCDEFGHIJ

文字入力部に、選んだ文字が入ります。カーソルは１つ右に移り、次の入力状態になります。

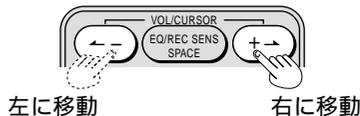
■文字入力を途中で止めるには

押す

OPR OFF

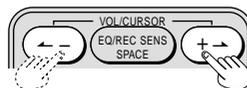
通常の表示画面にもどります。

文字入力部のカーソルを動かすには

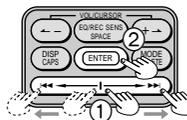
VOL/CURSOR
EQ/REC SENS
SPACE

左に移動　　右に移動

文字を訂正するには

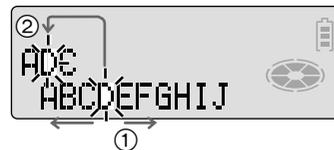
（例：“ B ”を“ D ”に訂正する。）

1 押して、訂正する文字にカーソルを合わせる

左に移動　　右に移動

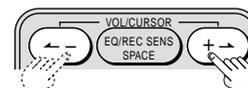
2

①押して（なぞって）、正しい文字にカーソルを合わせる

②押して、文字を確定する

左に移動　　右に移動

文字が上書きされます。

文字を挿入するには

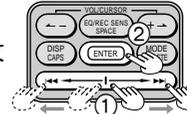
（例：“ C ”を挿入する）

1 押して、挿入する位置にカーソルを合わせる

左に移動　　右に移動

2 押すと

1 文字分空きます。

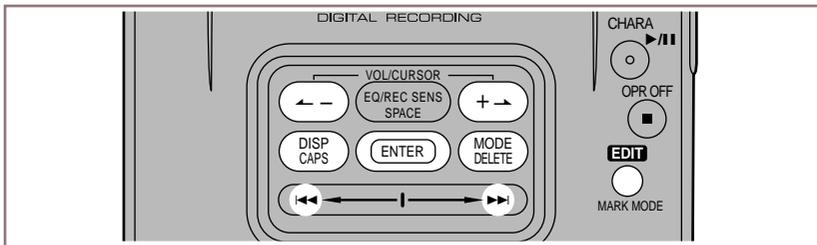
3

①押して（なぞって）、挿入する文字にカーソルを合わせる

②押して、文字を確定する

左に移動　　右に移動

文字が挿入されます。

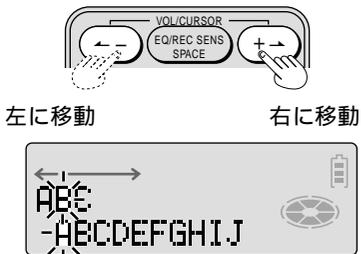
編集してみよう

MD にタイトルをつける（つづき）

文字入力のしかた（つづき）

■文字を削除するには

（例：“ B ”を削除する。）

1 押して、不要な文字にカーソルを合わせる

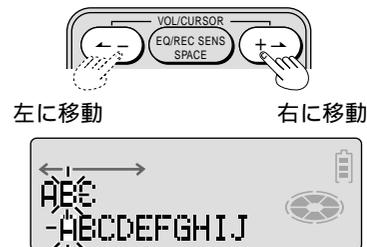
左に移動　　右に移動

2 押すと

後ろの文字が自動的に詰まります。

■入力した文字の大文字／小文字を変換するには

（例：“ B ”を“ b ”に変換する。）

1 押して、変換したい文字にカーソルを合わせる

左に移動　　右に移動

2 押すと

英字の大文字は小文字に、小文字は大文字に変換されます。

カタカナは

「アイウエオヤユヨツ」のみ変換されます。

■入力できる文字の種類（漢字入力はできません）

文字の種類	入力できる文字
英大文字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
英小文字	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
カタカナ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌ ネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン ゛゜ ァィゥェォャュョッー
数字記号	0123456789 ！”＃＄％＆’（）＊＋，－．／：；＜＝＞？＠＿｀

お知らせ

記号の／は連続して入力することはできません。

他の MD にタイトルをコピーする（タイトルステーション）

MD につけたタイトルを一時的に本機に記憶させ、他の MD にコピーすることができます。

操作のまえに

- 再生専用 MD や、未録音の MD（BLANK DISC）は使用できません。
- 両方の MD の曲数が同じときだけ、コピーできます。
- コピー先の MD にタイトルがついている場合、本機能を使うと、タイトルはすべて新しいものに置き換わります。
- グループ化されたディスクをコピー元に使用した場合、グループの情報もコピーされます。

1 タイトルのついた MD（コピー元）を入れる

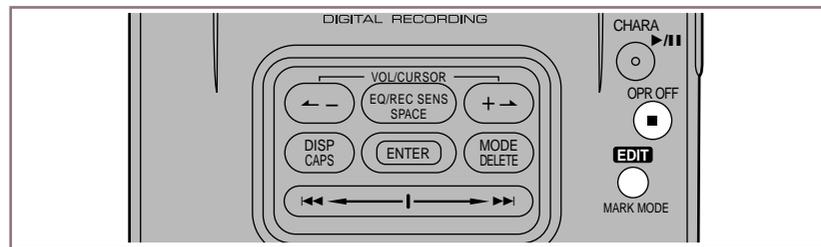
2 停止中に押す

3

①押して “TITLE COPY ?”（タイトル コピー）を選ぶ

②押して確定する

下の表示画面になります。

☞ 次ページに続く

他の MD にタイトルをコピーする（タイトルステーション）（つづき）

本機がタイトル情報を記憶すると表示されます。

4 コピー元の MD を取り出す

ふたを開けると、表示されます。

5 コピー先の MD を入れる

“ TOC Reading ” が表示された後、確認の表示が出ます。

6 押す

“ UTOC Writing ” が表示され、消灯後、編集が完了します。

■編集を途中で止めるには

手順 6 を行う前に[■, OPR OFF]を押す

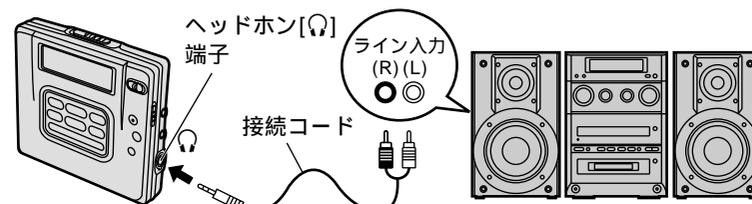
他の機器と組み合わせて使う

- 接続する機器の説明書をあわせてご覧ください。
- 本製品を正しく動作させるために、別売り品は必ず当社指定のものをお使いください。当社指定以外のものをお使いになると、故障の原因になります。

ステレオ機器と接続する

本機の再生音を、ステレオ機器で聞いたり、録音したりすることができます。

下記の別売り品をお買い求めください

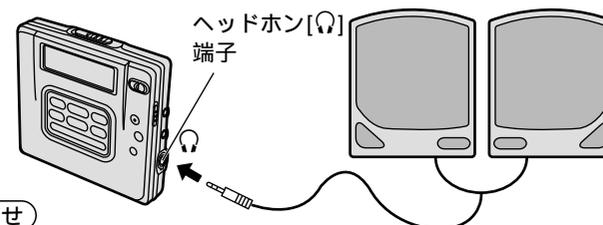
- 接続コード
  ステレオ機器側がライン入力端子の場合： RP-CAPM3G15、1.5 m
  ステレオ機器側がミニホンジャックの場合： RP-CAM3G15、1.5 m

お知らせ

- ステレオ機器へは、必ず入力端子に接続してください。誤って出力端子に接続すると、本機が故障するおそれがあります。
- 音質の設定は、**NORMAL**（解除）にしてください。（➡ 40 ページ）
- 本機の音量レベルは 20 ～ 23 に設定してください。

外部スピーカーで聞く

本機の再生音を、外部スピーカーに接続して聞くことができます。

下記の別売り品をお買い求めください

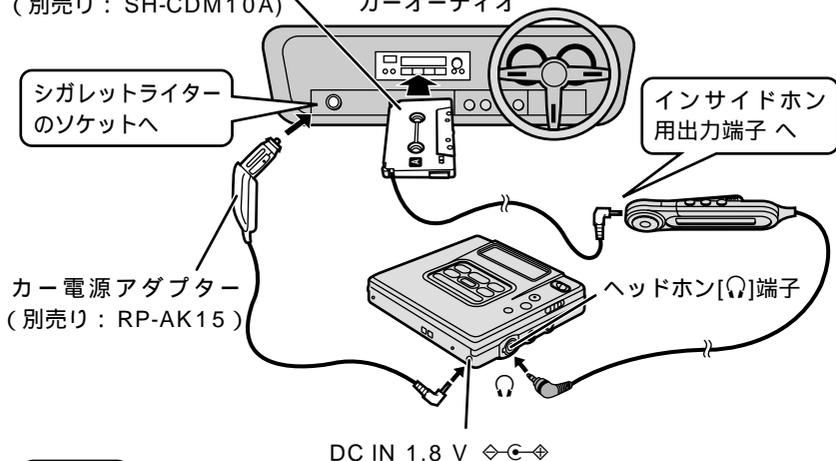
- 外部スピーカー： RP-SP30、RP-SP28 （アンプ内蔵型）

お知らせ

本機の音量を適切なレベルに設定してください。

他の機器と組み合わせて使う（つづき）

カーオーディオで聞く

下記の別売り品をお買い求めください

- カー電源アダプター： RP-AK15
- カーステレオカセットアダプター： SH-CDM10A

お知らせ

- カー電源アダプター（RP-AK15)を使って、録音しないでください。（録音動作の保証ができません。）また、このカー電源アダプターでは充電できません。
- カーステレオカセットアダプターの構造上、車種やカーステレオによっては使用できないものもあります。
- 音質の設定は、**NORMAL**（解除）にしてください。（➡ 40 ページ）
- 本機の音量レベルは 20 ～ 23 に設定してください。

別売り品の紹介

別売り品の品番は、2001 年 4 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

接続コード（アナログ）
- RP-CAPM3G15
  ステレオミニプラグ⇔ピンプラグ
  長さ： 1.5 m
- RP-CAM3G15
  ステレオミニプラグ⇔ステレオミニプラグ
  長さ： 1.5 m

光デジタルケーブル
- RP-CA2110A
  光角形プラグ⇔光ミニプラグ
  長さ： 1m
- RP-CA2210A
  光ミニプラグ⇔光ミニプラグ
  長さ： 1m

外部スピーカー
RP-SP30（アンプ内蔵型）
RP-SP28（アンプ内蔵型）

車でお使いいただく場合

カー電源アダプター
RP-AK15
カーステレオカセットアダプター
SH-CDM10A

その他

ステレオインサイドホン
RP-HJ535
RP-HJ237
ステレオマイク
RP-VC200（プラグインパワー方式）
RP-VC300

ご使用の際に

気をつけていただくこと

■本体
以下のことは故障の原因となりますので、避けてください。
- 強い衝撃や落下
- 雨に濡らす
- 風呂場など湿気が多いところでの使用
- 倉庫などほこりが多いところでの使用
- 暖房器具の近くなど温度が高いところでの使用

■ステレオインサイドホン
本体に巻き付けるときは、コードにたるみを持たせてゆるく巻いてください。

■充電式電池
- 長期間使用しなかった後は、充電しても通常の持続時間より短くなることがあります。充電、放電をくり返すと、通常に戻ります。
- 充電中は熱を持ちますが異常ではありません。

お手入れ

■本体が汚れたら
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は、からぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■良い音でお楽しみいただくために
別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品： MD レンズクリーナー
（品番： RP-CL310)
MD 録音ヘッドクリーナー
（品番： RP-CL320)

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問合せ先：
（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03－5353－0336

■著作権について

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部
☎（03）3481-2121
北海道支部
☎（011）221-5088
盛岡支部
☎（019）652-3201
仙台支部
☎（022）264-2266
長野支部
☎（026）225-7111
大宮支部
☎（048）643-5461
上野支部
☎（03）3832-1033
東京支部
☎（03）3562-4455
西東京支部
☎（03）3232-8301
東京イベントコンサート支部
☎（03）5286-1671
立川支部
☎（042）529-1500
横浜支部
☎（045）662-6551
静岡支部
☎（054）254-2621
中部支部
☎（052）583-7590
北陸支部
☎（076）221-3602
京都支部
☎（075）251-0134
大阪支部
☎（06）6244-0351
神戸支部
☎（078）322-0561
中国支部
☎（082）249-6362
四国支部
☎（087）821-9191
九州支部
☎（092）441-2285
鹿児島支部
☎（099）224-6211
那覇支部
☎（098）863-1228

MDのシステム上の制約

MDは、カセットテープやDATとは異なる方式で録音が行われます。この方式には、いくつかの制約があるため、次のような症状が出る場合があります。これらは、故障ではありません。

こんなときは	このような制約が
ディスクの最大録音時間に満たないのに、“UTOC FULL”が表示される。	録音時間に関係なく、254曲まで録音すると、それ以上録音できません。
曲数や録音時間が最大ではないのに、“DISC FULL”が表示される。	録音、編集をくり返したMDや、MDに傷がある場合、録音できなくなることがあります。
編集で、曲と曲がつなげない場合がある。	録音、編集をくり返したMDや、録音モード（通常、モノラル、LP2、LP4）が異なる曲どうしではコンバインできません。
曲を消しても残り時間が増えない。	MDの録音残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視されます。このため短い曲を何曲消しても録音時間が増えないことがあります。
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	録音、編集をくり返したMDに録音すると、1つの曲が分断されて記憶されることがあるため、このようなことが起こります。
録音した時間と残り時間を足しても、ディスクの最大録音可能時間にならない。	MDは2秒以下の音声を録音するにも、約2秒間のディスク領域を使うため、表示される残り時間より、実際に録音できる時間が少なくなることがあります。

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	ここをチェック	処置	参照ページ
操作できない	ホールド状態になっていませんか。	ホールド状態を解除する。	17
	ディスクが入っていますか。	ディスクを入れる。	18
	AC アダプターが正しく接続されていますか。	AC アダプターを接続し直す。	15
	電池が消耗していませんか。	充電する。または乾電池を交換する。	15、16
	損傷しているディスクが入っていませんか。	別のディスクに取り替える。	／
再生できない	録音したディスクが入っていますか。	曲の入っているディスクに取り替える。	／
1曲目から再生できない	再生モードがランダムになっていませんか。	ランダム再生モードを解除する。	39
録音や編集ができない	再生専用ディスクが入っていませんか。	録音用ディスクに取り替える。	／
	ディスクが誤消去防止状態になっていませんか。	ディスクの誤消去防止つまみを閉じる。	21
	他の機器と正しく接続されていますか。	正しく接続し直す。	22、23
	外部機器の光出力が出ていますか。	外部機器の取扱説明書を読んでください。	／
本体のふたが開かない	電池が消耗したり、AC アダプターの接続が外れていませんか。	新しい電池に取り替える。または、AC アダプターを正しく接続する。	15、16

こんなとき	ここをチェック	処置	参照ページ
インサイドホンから音が出ない 雑音がする	音量が最小になっていませんか。	音量を調節する。	35
	インサイドホン、リモコンのプラグは奥まで入っていますか。	一度抜いて、再度差し込む。	／
	プラグが汚れていませんか。	プラグをきれいにふく。	／
	本機と携帯電話を近づけて使っていませんか。	本機から携帯電話を離す。	／
ディスク名、曲名が途切れたり、表示されない	ディスクに記録できる文字数を超えていませんか。	文字数の少ない名前につけ直す。	55～62

Q＆A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）	参照ページ
録音した曲に上書きで録音したい。	上書き録音はできません。MD の録音残り時間が少ない場合はイレース機能で不要な曲を消してから録音してください。	48
一度録音した MD に追加で録音したい。	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。	25
録音中に、音量を変えたらどうなる？	録音中に音量を調節しても、録音される音には影響しません。	／
ステレオ／モノラル／ MDLP 再生はどうやって切り換えるの？	録音された状態によって、自動的に切り換わります。	36
MDLP 長時間録音された MD はどの機種でも再生できるの？	MDLP に対応していない機種では再生できません。曲のタイトルの頭に“ LP: ”と表示され無音状態になります。	／

こんな表示が出たら

表示	意味	処置
BLANK DISC [BLANK]	ディスクに音楽や文字情報が記録されていません。	再生するときは、録音済みのディスクに取り替えてください。
Can't EDIT [ERROR]	編集できません。表示パネルの下段の表示内容が原因です。	下段の表示内容に対する処置を行ってください。
Can't COMBINE	コンバインできない曲をまとめようとしました。	MD のシステム上の制約です。
Can't DIVIDE	ディバイドできない曲を分けようとしました。	MD のシステム上の制約です。
Can't REC	録音できません。表示パネルの下段の表示内容が原因です。	下段の表示内容に対する処置を行ってください。
DIGITAL IN, UNLOCK (交互に表示)	デジタル（光）入力端子につながずに録音しようとしました。	オプティカルデジタルケーブルの接続を確認してください。また、録音もとの機器の電源が、ON になっているか確認してください。
DISC ERROR	MD に異常があるか、損傷しています。	オールイレース機能で全曲消すか、MD を取り替えてください。
DISC FULL [FULL]	MD に録音できる空きがありません。	不要な曲を消すか、他の MD に取り替えてください。
DISC PROTECT	MD が誤消去防止状態になっています。	MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
EMERGENCY, STOP (交互に表示)	録音中に異常が発生しました。	MD を入れ直してください。
F17	磁気ヘッドに異常があります。	販売店に、ご相談ください。
GROUP DATA FULL	グループ管理データを更新する領域がありません。	グループを解除するか、グループタイトルを削除してください。
HOLD	HOLD 状態になっています。	HOLD 状態を解除してください。

[　　]内は、リモコンの表示です。

表示	意味	処置
LOW BATTERY, U01(交互に表示)	充電式電池や乾電池の残量が無くなりました。	充電するか、乾電池を交換してください。
NO DISC [NoDISC]	MD が入っていません。	MD を入れてください。（入れ直しても表示される場合は販売店にご相談ください。）
Playback DISC	再生専用 MD を録音・編集しようとしました。	録音用 MD に取り替えてください。
Can't COPY, SCMS (交互に表示)	デジタル入力録音でコピーのコピーは作れません。	アナログ入力を使って録音してください。
SYSTEM ERROR	自己診断により故障と判断しました。	お買い上げの販売店にご相談ください。
TOC Reading [T-READ]	MD の情報を読み込み中です。	――――
TRACK NUMBER, NOT EQUAL (交互に表示)	読み込んだタイトル数と、コピー先 MD の曲数が異なります。	タイトルと曲の数を同じにしてコピーしてください。
TITLE FULL [FULL]	入力しているタイトルが規定の文字数を超えています。	入力可能な文字数で入力してください。（➠ 57 ページ）
TITLE OVER [ERROR]	既に 101 文字以上入力されているタイトルを編集しようとしている。	編集を続けると 101 文字以降は自動的に削除されます。
UTOC FULL [FULL]	録音曲数が最大（254 曲）になっているので録音できません。 録音曲数は最大ではありませんが、MD のシステム上の制約で録音できません。 タイトルを書き込めるだけの領域の空きがありません。	不要な曲を消すか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
UTOC Writing [WRITE]	UTOC に書き込んでいます。	――――

保証とアフターサービス

（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（裏表紙をご覧ください）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間　：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、ポータブル MD レコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

68ページの「故障かな!?」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず AC アダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断、故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品名	ポータブル MD レコーダー	お買い上げ日	年　月　日
品番	SJ-MR220	故障の状況	できるだけ具体的に

お取り扱い・お手入れなどのご相談

ナショナル／パナソニック　**お客様ご相談センター**

電 話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　**修理ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、以下のページをご覧ください。

北海道地区					
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	帯広	帯広市西１９条南１丁目7-11 ☎ (0155)33-8477	函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151				

東北地区					
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎ (017)739-9712	岩手	盛岡市羽場13地割30-3 ☎ (019)639-5120	山形	山形市流通センター3丁目12-2 ☎ (023)641-8100
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎ (018)826-1600	宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎ (022)387-1117	福島	福島県安達郡本宮町字南/内65 ☎ (0243)34-1301

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴/緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(0839)86-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0101

Operating Instructions

Supplied Accessories

Refer to the illustration on page 3 of the Japanese text.

- **Stereo earphones**
- **Wired remote control**
- **Nickel-metal hydride rechargeable battery**
- **External battery case**
- **AC adaptor**
- **Carrying case**

Location of Controls

Refer to the illustrations on pages 12 to 14 of the Japanese text.

■Main unit

① **Tone/recording sensitivity/space button (EQ/REC SENS, SPACE)**
② **Display, capital/lower case button (DISP, CAPS)**
③ **Menu select, track number select, character select (|◀◀←, →▶▶|)**
④ **Volume and cursor buttons (←−, +→ ,VOL/CURSOR)**
⑤ **Play and record mode/character delete button (MODE, DELETE)**
⑥ **To add track marks, to confirm items selected with ③ (ENTER)**
⑦ **Rechargeable battery compartment cover (◀ OPEN)**
⑧ **Display**
⑨ **Play/record/pause/power on/character type button (▶/❚❚, CHARA)**
⑩ **Open switch (OPEN ▶)**
⑪ **Recording pause/power on/LP recording switch (REC➞, LP MODE)**
⑫ **Hold switch (HOLD➞)**
⑬ **Microphone jack (MIC (PLUG IN POWER))**
⑭ **Optical digital in/line in jack (OPT/LINE IN)**
⑮ **Stop/operation off/edit cancel button (■, OPR OFF)**
⑯ **Headphone jack (🎧)**
⑰ **Entering edit mode, completing edit ,changing track mark mode button (EDIT, MARK MODE)**
⑱ **DC IN jack (DC IN 1.8 V ⊖-◐-⊕)**
⑲ **Connection terminal for battery case**

■Main unit display

① **Recording indicator**
② **Level meter**
③ **LP recording indicator**
④ **Synchronized recording indicator**
⑤ **Remaining recording/playing time indicator**
⑥ **Sound quality indicators**
⑦ **Battery indicator**
⑧ **Track number, Text**
⑨ **Play mode indicator**
⑩ **Disc mark**

■Wired remote control

① **Display**
② **Hold switch (HOLD ▶)**
③ **Volume control buttons (+, −)**
④ **Play/record/stop button (▶/■)**
⑤ **Skip/search(forward) button (▶▶|)**
⑥ **Skip/search(backward) button (|◀◀)**
⑦ **Earphone jack**
⑧ **Light/display button (•LIGHT/ ▬ DISP)**
⑨ **Play mode button (PLAY MODE)**
⑩ **Track mark/tone control button (T.MARK/EQ)**
⑪ **Clip**
⑫ **Plug**

■Remote control display

① **Sound quality indicators**
② **Recording indicator**
③ **Battery indicator**
④ **Play mode indicator**
⑤ **Disc mark**
⑥ **Text**
⑦ **Track number**

■Stereo earphones

① **Plug**
② **Slider**
Slide up to prevent tangling the cord when the earphones are not in use.

Power Supply

Refer to the illustrations on pages 15 to 17 of the Japanese text.

The rechargeable battery

1 Put the battery into the unit.
The unit cannot recharge batteries other than the one supplied or recommended replacements.

2 Connect the AC adaptor.
Recharging begins.
“CHARGE” appears on the display while recharging.
“CHARGE” disappears when the battery is fully charged. It takes approximately 3.5 hours to recharge the supplied battery.

3 Disconnect the AC adaptor from the [DC IN 1.8 V ⊖-◐-⊕] terminal and the AC outlet.

Note

- The unit can only be recharged while it is off.
- The AC adaptor and battery may become warm during recharging but this is normal.

■Recharging time and duration

(When using the supplied battery.)
Charging : Approx. 3.5 hours
Play time
Normal stereo mode : Approx. 25 hours
LP2 stereo mode : Approx. 33 hours
LP4 stereo mode : Approx. 38 hours
Recording time
Normal stereo mode : Approx. 12.5 hours
LP2 stereo mode : Approx. 17 hours
LP4 stereo mode : Approx. 21 hours

- Duration may be reduced under some conditions.
- If the unit is to be used for long periods, such as during recording, use the AC adaptor to power it.

■Follow-on recharging

It is not necessary to completely discharge Panasonic’s nickel-metal hydride rechargeable batteries before recharging them.

■Rechargeable number of times

About 300.
The battery has reached the end of its useful life if play time dramatically reduces after recharging.

■Replacement

Nickel-metal hydride rechargeable battery (HHF-1PSC/1B, HHF-AZ01S/1B).

Dry cell battery (not included)

Use one LR6 alkaline battery. Use long -life Panasonic alkaline batteries.

1 Put the battery into the battery case.
2 Attach the case to the unit.

Note

Insert the rechargeable battery when recording on dry cell batteries.

■For longer use

Use the two types of batteries at the same time.

The battery indicator and battery flat alarm

The indicator flashes, when the battery is almost flat. The battery flat alarm also sounds three times. Recharge or replace the battery.

To turn off alarm
Press and hold [T.MARK/EQ] on the remote control until “BArm OFF” appears. Press and hold again to turn alarm on. Depending on the type of music and volume, the alarm may be difficult to hear.

Using the AC adaptor

Connect the AC adaptor.
Use only the supplied AC adaptor. Use of other adaptors can damage the unit.

Note

If the unit is not to be used for a long time disconnect the AC adaptor from the AC outlet and turn the unit off to save power. It is normal for the unit to make some sounds when you connect the AC adaptor or insert the battery as it initializes itself.

The HOLD Function

Refer to the illustration on page 17 of the Japanese text.

This function stops the unit and remote control from responding when a button is pressed.

Guards against the following

- The unit is powered on accidentally when not in use, causing the batteries to run down.
- A button is accidentally pressed during play or recording, interrupting the operation.

There is a HOLD switch on both the unit and remote control, each of which works independent of the other.

■The “HOLD” display

This is displayed for a few seconds on the main unit's and the remote control's display panels when the following occurs.

- The main unit is on hold and a button is pressed. (When off, display appears only if [▶/❚❚, CHARA] or [REC ➞, LP MODE] is operated.)
- The remote control's switch is moved to hold.

Insert an MD

Refer to the illustration on page 18 of the Japanese text.

① **Slide [OPEN ▶] in the direction of the arrow to open the lid.**
② **Slide the MD between the guides so it clicks into place.**
③ **Now close the lid.**

After you insert the MD, the unit turns on, reads the information from it, after a minute, the unit turns off.
The title of the disc and song is shown. The title scrolls if it can not be displayed all at once. “BLANK DISC” is displayed when you insert a blank MD.

Removing the disc

Slide [OPEN ▶] in the direction of the arrow and the disc springs out from the unit.

Using the Flatswitch

Refer to the illustrations on page 19 of the Japanese text.

The flatswitch allows you to efficiently select track number and enter text.

There are the following four ways of selecting track number and characters.

① **Press**
Skip one track number or character.

② **Swipe**
When editing, skip three track numbers or characters.

③ **Press and hold**
When editing, skip track numbers and characters faster.

④ **Swipe and hold**
When editing, track numbers and characters are skipped very fast.

When [→▶▶|] is pressed or swiped
The track number increases or the characters change in alphabetical order.

When [|◀◀←] is pressed or swiped
The track number decreases or the characters change in reverse alphabetical order.

Before recording

Track marks

Like CDs, it is possible to select and play a track on an MD by selecting its track number. There are marks at the beginning of each track, called track marks, that make this possible. The period between each track mark is called a track.
(See “Ways of adding track marks” on page 81 for details.)

The two methods of recording

Digital
This method records the digital signals from CDs and MDs. Compared to analog recording, this method makes it possible to make recordings of higher quality. Purchase an optical fiber cable (RP-CA2110A or RP-CA2210A, sold separately) to record digitally.

Analog
Use this method to make analog recordings of digital material, CDs and MDs, and to record analog sources such as the radio. Purchase a line cord (RP-CAPM3G15 or RP-CAM3G15, sold separately) to make analog recordings.

Basic recording

Refer to the illustrations on pages 24 to 28 of the Japanese text.

Preparation
- Release HOLD.
- Insert a recordable MD.

1 DIGITAL
Connect this unit to a unit that has a digital output terminal.
ANALOG
Connect this unit to a unit that has stereo LINE OUT terminals.
- Connect while the unit is stopped.
- Do not connect anything to [MIC (PLUG IN POWER)] when analog recording.

2 Slide [REC →, LP MODE] to the right.
The unit comes on and enters the recording standby mode. If you have inserted an MD with recordings already on it, the unit prepares to record from the first available space.

3 ① **Press [▶/❚❚, CHARA] to start recording.**
② **Begin playback of the source.**

■To pause recording
Press [▶/❚❚, CHARA]. (The number of tracks increases by one.)
Recording restarts when pressed again.

■To stop recording
Press [■, OPR OFF].
(UTOC is recorded.)
- The unit powers itself off automatically in about a minute.
- You can turn off the unit by pressing again [■,OPR OFF] on the main unit while stopped.

■High quality recording
You can take advantage of the unit’s High Density Encoding System (HDES) when using normal stereo mode for recording, whichever input mode you choose to use; digital, analog, or microphone. HDES does not function when you use MDLP modes. “HDES” appears on the unit’s display when you put the unit in the recording standby mode.

■To record at the correct volume
Adjust the recording sensitivity to suit the equipment you have connected. (See page 81.)

Synchronizing recording with the playback equipment

Synchronized recording
This method starts and stops recording at the same time as the source being recorded.

One track synchronized recording
The first track on a CD is recorded and then the unit goes to recording standby mode. This is a convenient mode if you want to record the first track off a number of single CDs.

Preparation
- Release HOLD.
- Insert a recordable MD.

1 Connect this unit to other equipment.
2 Slide [REC →, LP MODE] to the right.
3 Press [MODE, DELETE] to select the recording mode.
Each time [MODE, DELETE] is pressed

DIGITAL
SYNC→**SYNC 1**→Normal (No display)
↑_______________________|

ANALOG
SYNC→Normal (No display)
↑__________|

Note
If you have set the recording mode to “SYNC”, recording begins immediately if the source, for example the radio, you are recording is already playing.

4 Begin playback of the source.
Recording begins automatically.

■To pause recording
If you have selected
- **Synchronized recording (SYNC)**
This unit automatically pauses if the source is stopped or if 2 seconds of silence when analog recording, 5 seconds of silence when digital recording is detected. (The number of tracks increases by one.)
- **One track synchronized recording (SYNC 1)**
The unit automatically pauses after the first track finishes.(The number of tracks increases by one.)

Recording restarts as follows
- **Synchronized recording (SYNC)**
When sound is input again
- **One track synchronized recording (SYNC 1)**
When you change the CD and play track 1

■To stop recording
Press [■, OPR OFF].
(UTOC is recorded.)
- The unit powers itself off automatically in about a minute.
- You can turn off the unit by pressing again [■, OPR OFF] on the main unit while stopped.

Note
- One track synchronized recording does not function in the following cases:
  - When you start CD play from track 2 or later.
  - When the first track on a CD is not numbered 1 (on the second of a set of two CDs, for example).
- You cannot pause recording manually during synchronized and one track synchronized recording.
- You cannot use synchronized recording when using a microphone.

Putting track marks

Track marks are put automatically as follows.

DIGITAL
When recording from a CD or MD
The track marks are put onto the MD corresponding to the tracks on the other disc. (Track marks may not correspond to track numbers with some discs.)

When recording from other digital sources
5 seconds of silence is determined as the division between two tracks and a track mark is added.

ANALOG
2 seconds of silence is determined as the division between two tracks and a track mark is added.

■Connecting digital equipment
- Use an AC adaptor to power a portable CD player and turn off its anti-skip function.
- This unit has a sampling rate converter that functions automatically, so you can make digital recordings from equipment with different sampling rates, such as satellite receivers and DAT decks.

ENGLISH

Making good recordings

■Avoid the batteries running down while recording

Power the unit with the AC adaptor while recording. If you intend to use batteries, ensure they do not run out.

■Do not open the lid or shake the unit while recording

Protect the unit from vibration during recording.
Be especially careful while "UTOC Writing" is on the display ("WRITE" on the remote control). If the unit is moved at this time, the recording may not be correctly recorded onto the disc. You can damage the unit or disc if you try to force open the lid.

Recording from a microphone

Refer to the illustration on page 29 of the Japanese text.

Preparation
- Release HOLD.
- Insert a recordable MD.

1 Connect the microphone.
- Connect while the unit is stopped.
- Do not connect anything to [OPT/LINE IN].
- Keep the microphone away from the unit to avoid recording sounds from it.

2 Slide [REC →, LP MODE] to the right.

3 ① Press [▶/❚❚, CHARA] to start recording.
② Face the microphone towards the source of the sound.

■To pause recording

Press [▶/❚❚, CHARA]. (The number of tracks increases by one.)
Recording restarts when pressed again.

■To stop recording

Press [■, OPR OFF].
(UTOC is recorded.)
- The unit powers itself off automatically in about a minute.
- You can turn off the unit by pressing again [■, OPR OFF] on the main unit while stopped.

■Track marks

Add track marks manually or have the unit add them at selected intervals.

■For stereo recording

Purchase a stereo microphone, part number RP-VC200 or RP-VC300.

Long play recording

Refer to the illustration on page 30 of the Japanese text.
You can record two or four times the amount of material as normal stereo recording.

Preparation
- Release HOLD.
- Insert a recordable MD.

1 Connect to the other equipment.

2 Slide [REC →, LP MODE] to the right.

3 Slide [REC →, LP MODE] to select the recording mode.
The mode changes each time you slide the button.

4 ① Press [▶/❚❚, CHARA] to start recording.
② Begin playback of the source.
After step 3, you can also select synchronized recording (digital or analog) or one track synchronized recording (digital) with [MODE, DELETE].

■The recording times for each recording mode

The recording times for each mode are as follows when you use an 80-minute MD.
Normal stereo mode : Max.80 minutes
LP2 stereo mode : Max.160 minutes
LP4 stereo mode : Max.320 minutes

Note
- You can record using normal stereo, LP2 stereo, and LP4 stereo on the same disc.
- You cannot play material recorded using LP2 stereo or LP4 stereo on incompatible equipment.
- Use normal stereo recording for the best quality sound.
- The mode reverts to normal stereo recording when you replace the battery or unplug the AC adaptor.

Other recording functions

Refer to the illustrations on pages 32 and 33 of the Japanese text.

Ways of adding track marks

Apart from auto marking where the unit automatically adds the track marks during recording, there are also the manual and auto time marking methods.

Press [EDIT, MARK MODE] while the unit is in the recording standby mode to select the required marking method.

The mode changes each time the button is pressed.

AUTO
Track marks are added automatically when the tracks change.
↓
MANUAL
Track marks can be added manually where required.
↓
3MIN
Track marks are inserted at 3 minute intervals.
↓
5MIN
Track marks are inserted at 5 minute intervals.
↓
10MIN
Track marks are inserted at 10 minute intervals.

■To add track marks manually

Main unit
Press [ENTER] when a track mark is required during recording.
Remote control
Press [T.MARK/EQ] during recording.

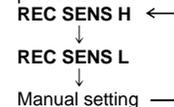
Track marks are added manually even if " MANUAL " has not been selected.

Note
"AUTO" cannot be selected when recording with a microphone.

Adjusting recording sensitivity

You can adjust the sensitivity of the unit when recording with any of the input methods: digital, analog, or with microphone.

Press [EQ/REC SENS, SPACE] while in recording standby mode.

The mode changes each time the button is pressed.

To adjust manually

1 Begin playback of the source.

2 Press [⏮] or [⏭].
Adjust so the meter reaches to between –12dB and –4dB.

⏭: Recording sensitivity increases. (The level meter also increases in length.)
⏮: Recording sensitivity decreases. (The level meter also decreases in length.)

Checking the remaining time on the MD

This function allows you to check the time available for recording while in recording standby mode or in progress.

Main unit
Press [DISP, CAPS] while in recording standby mode or during recording.
Remote control
Press and hold [• LIGHT/ ▬ DISP] while in recording standby mode or during recording.
The display changes each time this is done to show elapsed recording time and the remaining recording time.

ENGLISH

Playback (Basic play)

Refer to the illustrations on pages 34 to 36 of the Japanese text.

Preparation

- Release HOLD.
- Insert a MD.

1 Connect the remote control and earphones, then insert the remote control's plug into the headphone jack [🎧] on the unit.

2 Main unit

Press [▶/❚❚, CHARA] to start play.

Remote control

Press [▶/■] to start play.

The unit stops automatically when all the tracks on the disc have been played.

3 Adjust the volume.

+: To increase the volume level
−: To decrease the volume level
Volume level is 0–25.

■To pause play

Main unit

Press [▶/❚❚, CHARA] during play.

■To stop the disc

Main unit

Press [■, OPR OFF].

Remote control

Press [▶/■].

- The unit powers itself off automatically in about a minute.
- You can turn off the unit by pressing again [■, OPR OFF] on the main unit while stopped.

■Resume function

The unit stores the point at which play was stopped and if [▶/❚❚, CHARA] on the main unit or [▶/■] on the remote control is pressed again, play begins from that point. This does not work if the unit is opened or if the battery is removed. The unit starts play from the first track in these cases.

■Playback for long times

- **MDLP**
  You can play tracks recorded with MDLP mode. "LP-2" or "LP-4" is displayed.
- **Monaural playback**
  If a disc was recorded monaurally, the unit automatically switches to monaural playback mode.

The unit selects the play mode according to the recording mode: normal stereo, 2 x play stereo (LP2), or 4 x play stereo (LP4), monaural.

Other playback functions

Refer to the illustrations on pages 37 to 40 of the Japanese text.

Skip

This function skips tracks and play begins from the beginning of the selected track.

Main unit

Press during play.
Forward : [▶▶|]
Backward : [|◀◀]

Remote control

Press during play.
Forward : [▶▶|]
Backward : [|◀◀]

Search

This function allows you to fast-forward or rewind through tracks.

Main unit

Press and hold during play.
Forward : [▶▶|]
Backward : [|◀◀]

Remote control

Press and hold during play.
Forward : [▶▶|]
Backward : [|◀◀]

Track/group select

This function allows you to begin listening from a selected track or group.

1 Main unit Remote control

To listen to the track you like
Press while stopped.

To listen to the group you like
Press and hold while stopped.
Forward : [▶▶|]
Backward : [|◀◀]

2 Main unit

Press [▶/❚❚, CHARA] to start play.

Remote control

Press [▶/■] to start play.

Play starts from the selected track or group and plays through to the final track.

Repeat and Random play

Main unit

Press [MODE, DELETE] when the unit is stopped or playing.

Remote control

Press [PLAY MODE] when the unit is stopped or playing.

The mode changes each time the button is pressed.

1 track repeat (1- ⟳)
One track is played over and over.
↓
All track repeat (⟳)
All tracks on the disc are repeated.
↓
Random (RANDOM)
All tracks are played randomly once each then the unit stops automatically.
↓
Normal (no indicator is shown)

If you have selected the mode when the unit was stopped, press [▶/❚❚, CHARA] (main unit) or [▶/■] (remote control).

Sound quality

Main unit

Press [EQ/ REC SENS, SPACE] when the unit is stopped or playing.

Remote control

Press [T.MARK/EQ] when the unit is stopped or playing.

Every time the button is pressed the mode changes and an indicator is shown on the display in the following order.

XBS-1
Increases the power of the bass sounds.
↓
XBS-2
Increases the XBS-1 effect.
↓
TRAIN
Reduces sounds that may annoy others when you are using the unit in a public place.
↓
NORMAL (Cancel)

Other useful functions

Refer to the illustration on pages 41 to 43 of the Japanese text.

About the display

■To light the display of the remote control

The display lights for about 5 seconds when an operation is done on the remote control. It remains lit for up to 20 seconds while a track or disc title is scrolling on the screen.

■Checking the display of the remote control

Press [• LIGHT/ ▬ DISP].
The display lights for 5 seconds.

■Adjusting the display's contrast

When the unit is powered on:

1 Put the main unit in hold (See page 17 of the Japanese text.) .

2 ①Press and hold [▶/❚❚, CHARA] on the main unit and ...

② Main unit

Press [−, +, VOL/CURSOR].

Remote control

Press [+, −].

+ : darker, − : lighter

Change the display

Main unit

Press [DISP,CAPS] when the unit is stopped or playing.

The display changes each time this is done to show the remaining playing time, the group title, remaining recording time, the disc title, playing time of all tracks, total numbers of tracks, elapsed playing time, the track number and the track title.

Note

The remaining recording time shown corresponds to the recording mode (normal, LP2, or LP4) currently selected.

Remote control

Press and hold [• LIGHT/ ▬ DISP] when the unit is stopped or playing.

The display changes each time this is done to show the track title, the group title, the disc title, playing time of all tracks, total numbers of tracks, elapsed playing time and the track number.

■The operation tone of the remote control

A tone sounds when a button on the remote control is pressed.
The tone can be turned on and off.

To turn on
Press and hold [▶/■] until "Beep ON" appears.

To turn off
Press and hold [▶/■] until "Beep OFF" appears.

ENGLISH

Editing MDs

DIVIDE (Dividing a track into two)

This allows you to add track marks, making it easy to divide a classical piece into its separate movements, for example.

Operation

Refer to the illustration on page 45 of the Japanese text.

1 Press [EDIT, MARK MODE] during play.

2 ①Press [|◀◀, ▶▶|] to select "DIVIDE?".
②Press [ENTER] at the point you want to divide the track.
A 4 second segment (8 seconds if the track is monaural or recorded with LP2, 16 seconds if the track is recorded with LP4) of the track is played repeatedly, beginning at the point selected.

■To adjust the point

Press or swipe [|◀◀←, →▶▶|] to adjust the point.
Adjustments can be made approximately 8 seconds (16 seconds if the track is monaural or recorded with LP2, 32 seconds if the track is recorded with LP4) either side of the original point. (–128 to +127)

3 Press [ENTER].
The display asks you to confirm your selection.

4 Press [EDIT, MARK MODE].
When "UTOC Writing" goes out editing is complete and the unit stops.

■To stop part way through an editing operation

Press [■, OPR OFF] before confirming the operation in step 4.

Note

- If you divide a track with a title, the latter track becomes untitled.
- DIVIDE cannot be used while the unit is stopped.

MOVE (Moving tracks)

Rearrange the order of the tracks.

Operation

Refer to the illustration on page 46 of the Japanese text.

1 Press [EDIT, MARK MODE] while stopped.

2 ①Press [|◀◀, ▶▶|] to select "MOVE?".
②Press [ENTER].
Now the display is in the mode to select track to be moved.

3 ①Press or swipe [|◀◀←, →▶▶|] to select the track to be moved.
②Press [ENTER].
Now the display is in the mode to select the new position.

4 ①Press or swipe [|◀◀←, →▶▶|] again to select the new position.
②Press [ENTER].
The display asks you to confirm your selection.

5 Press [EDIT, MARK MODE].
When "UTOC Writing" goes out editing is complete and the unit stops.

To stop part way through an editing operation

Press [■, OPR OFF] before confirming the operation in step 5.

ALL ERASE (Erasing tracks)

Erase all the tracks on the MD.

Operation

Refer to the illustration on page 47 of the Japanese text.

1 Press [EDIT, MARK MODE] while stopped.

2 ①Press [|◀◀, ▶▶|] to select "ALL ERASE?".
②Press [ENTER].
The display asks you to confirm your selection.

3 Press [EDIT, MARK MODE].
When "UTOC Writing" goes out editing is complete and the unit stops.
("BLANK DISC" appears on the display.)

■To stop part way through an editing operation

Press [■, OPR OFF] before confirming the operation in step 3.

Note

ALL ERASE cannot be used while the disc is playing or paused.

TRACK ERASE

Erase one track at a time.

Operation

Refer to the illustration on page 48 of the Japanese text.

1 Press [EDIT, MARK MODE] while stopped.

2 ①Press [|◀◀, ▶▶|] to select "TRACK ERASE?".
②Press [ENTER].
Now the display is in the track selection mode.

3 ①Press or swipe [|◀◀←, →▶▶|] to select the track to erase.
②Press [ENTER].
The display asks you to confirm your selection.

4 Press [EDIT, MARK MODE].
When "UTOC Writing" goes out editing is complete and the unit stops.

■To stop part way through an editing operation

Press [■, OPR OFF] before confirming the operation in step 4.

COMBINE (Combining 2 tracks)

Remove a track mark from between two tracks, effectively making them one track.

Operation

Refer to the illustration on page 49 of the Japanese text.

1 Press [EDIT, MARK MODE] while playing the latter of the two tracks you want to combine (or while paused).

2 ①Press [|◀◀, ▶▶|] to select "COMBINE?".
②Press [ENTER].
The display asks you to confirm your selection. In the example, the last eight seconds of track 2 and the first eight seconds of track 3 play repeatedly. (16 seconds if the track is monaural or recorded with LP2, 32 seconds if the track is recorded with LP4)

3 Press [EDIT, MARK MODE].
When "UTOC Writing" goes out editing is complete and the unit stops.

■To stop part way through an editing operation

Press [■, OPR OFF] before confirming the operation in step 3.

Note

- COMBINE does not work while playing track 1.
- You cannot combine tracks recorded using different modes (monaural, normal stereo, LP2, and LP4).

GROUP (Grouping tracks)

You can do the following

- **Group set**
  Group together successive tracks and give groups titles
- **Group title**
  Change group titles
- **Group release**
  Release tracks from a group

Operation

Refer to the illustration on pages 50 to 54 of the Japanese text.

1 Press [EDIT, MARK MODE] while stopped.

2 ①Press [|◀◀, ▶▶|] to select "GROUP?".
②Press [ENTER] .
Now the display is in the function selection mode.

3 ①Press to select the function.
The mode changes each time the button is pressed.

②Press [ENTER] .
Refer to operation you selected.

- **GROUP SET**

After step 3 above

The display is ready for you to select the first track in the group.

4 ①Press or swipe [|◀◀←, →▶▶|] to select the first track.
②Press [ENTER].
The display is ready for you to select the last track in the group.

5 ①Press or swipe [|◀◀←, →▶▶|] to select the last track.
②Press [ENTER].
The number of the new group is displayed.
After 2 seconds
The text editing mode is entered.

6 Enter the title. (See page 86.)

7 Press [EDIT, MARK MODE].
When "UTOC Writing" goes out editing is complete and the unit stops.

■To stop part way through an editing operation

Press [■, OPR OFF] before confirming the operation in step 7.

ENGLISH

●GROUP TITLE
After step 3 on the preceding page
The display is ready for you to select the group to title.

4 ①**Press or swipe [⏮←, →⏭] to select the group you want to title.**
②**Press [ENTER].**
The text editing mode is entered.

5 **Enter the title.** (See right.)

6 **Press [EDIT, MARK MODE].**
When "UTOC Writing" goes out editing is complete and the unit stops.

■To stop part way through an editing operation

Press [■, OPR OFF] before confirming the operation in step 6.

●GROUP RELEASE
After step 3 in the page before
The display is ready for you to select the group to release.

4 ①**Press or swipe [⏮←, →⏭] to select the group you want to release.**
②**Press [ENTER].**
The display asks you to confirm your selection.

5 **Press [EDIT, MARK MODE].**
When "UTOC Writing" goes out editing is complete and the unit stops.

■To stop part way through an editing operation

Press [■, OPR OFF] before confirming the operation in step 5.

Note

- After using editing functions (e.g., DIVIDE, MOVE, and COMBINE) on a disc with groups, the unit rewrites UTOC to maintain consistent group information.
- If you create groups with this unit and then perform editing on a unit that is incompatible with group functions, the group information may be rendered unusable.

Titling MDs

Titling discs and tracks

Refer to the illustration on page 55 of the Japanese text.

Each track and disc can have a title of up to 100 characters in length.

1 **Press [EDIT, MARK MODE] while stopped.**
"TITLE?" appears on the display.

2 **Press [ENTER].**
"DISC TITLE?" appears on the display.

3 ***When titling a disc***
Press [ENTER] again.
The text editing mode is entered.
When titling a track
①**Press or swipe [⏮←, →⏭] to select the track you want to title.**
②**Press [ENTER].**
The text editing mode is entered.

4 **Enter the title.** (See below.)

5 **Press [EDIT, MARK MODE].**
When "UTOC Writing" goes out editing is complete.

■After titling a disc

The display automatically shows the track titling display. Follow the steps for titling tracks.

■To stop part way through an editing operation

Press [■, OPR OFF] before confirming the operation in step 5.

Note

- If you start entering a title while a track is playing, the track repeats until you finish.
- The number of characters is limited to 97 when the track is recorded with LP2 or LP4.
- If you begin title editing with a disc that has titles longer than 100 characters, "TITLE OVER" is displayed and then the text-editing mode is entered. The unit erases the extra characters when you complete editing.

Entering text

Refer to the illustrations on pages 58 to 61 of the Japanese text.

Preparation: Put the unit in the text editing mode (See above.).

1 **Press [▶/❚❚, CHARA] to select the type of characters.**
The type changes each time the button is pressed.

English capitals → English lower case
↑ ↓
Numerals and symbols ← Katakana

2 ①**Press or swipe [⏮←, →⏭] to move the cursor over the character you want to enter.**
②**Press [ENTER] to enter the character.**
The character you selected is entered. The cursor moves to the right and shows where the next character will be entered.

■To stop part way through an editing operation

Press [■, OPR OFF].
The normal display is restored.

■To move the cursor

Press [– –, + –,VOL/CURSOR].
+ – : Move to the right
– – : Move to the left

■Correcting titles

1 **Press [– –, + –,VOL/CURSOR] to move the cursor over the character you want to correct.**

2 ①**Press or swipe [⏮←, →⏭] to move the cursor over the character you want to enter.**
②**Press [ENTER] to enter the character.**
The new character replaces the old one.

■To insert an extra character

1 **Press [– –,+ –,VOL/CURSOR] to move the cursor over the place you want the character to go.**

2 **Press [EQ/REC SENS, SPACE].**

3 ①**Press or swipe [⏮←, →⏭] to select the character to enter.**
②**Press [ENTER] to enter the character.**
The character is inserted.

■To erase a character

1 **Press [– –, + –,VOL/CURSOR] to move the cursor over the character you want to erase.**

2 **Press [MODE, DELETE].**
The characters after the erased character move back to take its place.

■Changing capitals into lower case or lower case into capitals

1 **Press [– –, + –,VOL/CURSOR] to move the cursor over the character you want to change.**

2 **Press [DISP, CAPS].**

Copying titles from one MD to another (TITLE STATION)

Refer to the illustration on pages 61 to 62 of the Japanese text.

The unit temporarily records the titles from an MD so they can then be copied onto another MD.

Before proceeding

- You cannot copy titles from prerecorded MDs or blank MDs.
- You can copy titles only if both MDs have the same number of tracks.
- If the MD you are copying titles to already has titles, they are replaced with the new titles when this procedure is used.
- Group information is also copied from the disc being copied.

1 **Insert the MD with the titles.**

2 **Press [EDIT, MARK MODE] while stopped.**

3 ①**Press [⏮, ⏭] to select "TITLE COPY?".**
②**Press [ENTER].**
After "TITLE MEMORY" is displayed "TAKEOUT DISC" is displayed when the unit has recorded the titles.

4 **Eject the MD.**
"CHANGE DISC" is displayed when the lid is opened.

5 **Insert the other MD.**
After "TOC Reading" is displayed, the display asks you to confirm the operation.

6 **Press [EDIT, MARK MODE].**
When "UTOC Writing" goes out editing is complete and the unit stops.

■To stop part way through an editing operation

Press [■, OPR OFF] before confirming the operation in step 6.

ENGLISH

主な仕様

形　　式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音方式：磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式：半導体レーザー（λ＝780 nm）による非接触光学式
エラー訂正方式：アドバンスト　クロスインターリーブ　リードソロモンコード（ACIRC）
圧縮/伸長方式：ATRAC/ATRAC3方式
チャンネル数：2チャンネル（ステレオ）
1チャンネル（モノラル）
（モノラルは再生のみ）
サンプリング周波数：44.1 kHz
サンプリングレートコンバーター　入力：32 kHz/44.1kHz/48 kHz
周波数特性：20 Hz～20 kHz
（＋0 dB ～－8 dB）
ワウ・フラッター：測定限界値以下
入力端子
OPT/LINE IN端子（［OPT/LINE IN］は兼用ジャック）
入力インピーダンス：22 kΩ
入力レベル：SENS H: 178 mV
SENS L: 500 mV
MIC端子
入力インピーダンス：600 Ω
入力レベル：SENS H: 0.4 mV
SENS L: 2.5 mV
出力端子
ヘッドホン端子
負荷インピーダンス：22 Ω
出力レベル：3.5 mW＋3.5 mW

電　源
充電式電池：DC 1.2 V
（専用充電式電池）
乾電池：DC 1.5 V
（単3形アルカリ乾電池×1個）
ACアダプター：DC 1.8 V
（付属ACアダプター 100 V AC,50/60 Hz 7VA 使用時）
電池持続時間（EIAJ）
（➠ 右ページ参照）
充電時間
付属ACアダプター使用：約3時間30分
寸法(W×H×D)
本体寸法：78.2×71.6×16.0 mm
最大外形寸法：80.4×74.1×18.3 mm
（EIAJ）
質　量：約115 g
（充電式電池含む）
約88 g
（充電式電池含まず）

- 電池持続時間は、水平に置き連続して録音または再生した場合の時間です。使用条件によって短くなる場合があります。
- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源「切」時消費電力
…1.6 W(ACのとき)

電池持続時間（EIAJ）

録音

使用電池	ステレオ（通常）	LP2ステレオ（2倍長時間）	LP4ステレオ（4倍長時間）
充電式電池[1)]	約12時間30分	約17時間	約21時間
乾電池[2)]	約19時間	約26時間	約34時間
充電式電池[1)]＋乾電池[2)]	約34時間	約45時間	約55時間

再生

使用電池	ステレオ（通常）	LP2ステレオ（2倍長時間）	LP4ステレオ（4倍長時間）
充電式電池[1)]	約25時間	約33時間	約38時間
乾電池[2)]	約42時間	約54時間	約62時間
充電式電池[1)]＋乾電池[2)]	約69時間	約87時間	約100時間

1）付属充電式電池フル充電時
2）パナソニックアルカリ乾電池（LR6）使用時

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

<無料修理規定>

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
　（イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
　（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口にご連絡ください。
2．ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にご相談ください。
3．ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
4．保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
　（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
　（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
　（ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
　（ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
　（ヘ）本書のご添付がない場合
　（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
　（チ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7．お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

お手持ちの機器と接続するには

お手持ちの機器の再生音を本機で録音するときは、必要な接続コードをお買い求めいただき、下表に従って正しく接続してください。なお、詳しい操作方法などについては、取扱説明書をご覧ください。

接続時にご注意いただきたい点を、取扱説明書の 22 ～ 23 ページで説明していますので、必ずご確認ください。

基本の録音（他機器からの録音）

接続する機器	接続する機器の接続端子／接続コード	本機の接続端子
ポータブル CD プレーヤー	**デジタル接続** 光出力（丸型）／光ミニプラグ — 光ミニプラグ RP-CA2210A（別売り）	OPT/ LINE IN
	アナログ接続 ヘッドホン／ライン出力／ステレオミニプラグ — ステレオミニプラグ RP-CAM3G15（別売り）	OPT/ LINE IN
ラジカセ	**デジタル接続** 光出力（角型）／光角形プラグ — 光ミニプラグ RP-CA2110A（別売り）	OPT/ LINE IN
	アナログ接続 ヘッドホン／ライン出力／ステレオミニプラグ — ステレオミニプラグ RP-CAM3G15（別売り）	OPT/ LINE IN
ステレオ機器	**デジタル接続** 光出力（角型）／光角型プラグ — 光ミニプラグ RP-CA2110A（別売り）	OPT/ LINE IN
	アナログ接続 ライン出力 (L) (R)／ピンプラグ — ステレオミニプラグ RP-CAPM3G15（別売り）	OPT/ LINE IN
CD プレーヤー	**デジタル接続** 光出力（角型）／光角型プラグ — 光ミニプラグ RP-CA2110A（別売り）	OPT/ LINE IN

マイクからの録音

接続する機器	接続する機器の接続端子／接続コード	本機の接続端子
ステレオマイク	**プラグタイプ** ステレオミニ(M3) RP-VC200（別売り）	MIC(PLUG IN POWER)